

道の駅いまべつ
半島プラザ アスクル
再整備基本計画

令和4年3月

青森県今別町

目 次

はじめに	1
第1章 道の駅の概要	2
1-1 道の駅の概要	2
1-2 重点「道の駅」制度の概要	3
1-3 「道の駅」第3ステージ(2020年～2025年)	5
第2章 道の駅いまべつの現状と基本構想の概要	6
2-1 道の駅いまべつの現状	6
2-2 基本構想の概要	10
第3章 町民・利用者ニーズ調査	12
3-1 町民アンケート	12
3-2 道の駅来場者アンケート	24
第4章 再整備の基本的方向性	29
4-1 現状と課題の整理	29
4-2 再整備の基本方針	30
4-3 国土強靱化地域計画への位置付け	31
4-4 導入施設整備方針	31
第5章 整備・管理計画	36
5-1 事業主体の検討	36
5-2 道の駅整備に活用できる補助制度	37
5-3 管理運営の検討	38
第6章 施設配置計画	39
6-1 法的条件	39
6-2 全体施設配置計画(案)	41
6-3-1 個別施設配置計画(案) 建物及び駐車場等	42
6-3-2 // 緑地広場	44
6-3-3 // 道の駅増築	45
6-3-4 // 物産館	46
6-3-5 // 交流棟	47
6-3-6 完成予想パース	48
6-4 概算事業費	49
6-5 想定年間利用者数等	50
6-6 事業スケジュール(予定)	52
第7章 策定の経緯	53
7-1 委員会開催経過	53
7-2 道の駅再整備推進協議会委員	54

はじめに

JR 津軽線津軽二股駅駅舎跡地に、情報発信基地として道の駅の機能を備えた半島プラザ「アスクル」が平成9年4月開設、以来、「津軽海峡線津軽今別駅」、道路利用者に休憩機能や地域連携機能の提供を行ってきました。平成28年3月北海道新幹線奥津軽いまべつ駅開業を踏まえ、平成26年度から増改築され、開業1年前の4月にリニューアルし道路利用者や新幹線利用者、住民に拡充した休憩、地域連携、情報発信機能により地域振興に寄与してまいりました。

北海道新幹線「奥津軽いまべつ駅」開業から5周年を迎え、今後の町活性化や観光客等の利便性の向上のため、奥津軽いまべつ駅を拠点とした町内の回遊性を高めるための二次交通の整備と充実、道の駅いまべつ及びいまべつ総合体育館等の利用促進、来訪者のニーズに応えた「道の駅いまべつ」周辺の環境整備及び近年、自然災害が全国で勃発しているなか、町の指定避難所、JR北海道避難場所と指定されている施設の防災機能の拡充整備が重要な課題となっているほか、地産地消といった一次産業の活性化や販路拡充が求められています。

このような状況の中、町では「道の駅いまべつ 半島プラザ アスクル 再整備基本構想」を策定し、「自然の豊かさを満喫し、ゆっくりくつろぎ、今別の「食」の感動体験ができる“道の駅”」を基本コンセプトに、道の駅再整備により周辺エリア全体を魅力あるものとするにより、町外からの多くの方々の呼び込みを図るのみならず、地域住民の交流の場として地域に賑わいを創出する拠点を目指しますと共に、道の駅の基本機能である「休憩機能」、「情報発信機能」、「地域連携機能」、併せて、道の駅一体エリアを「防災機能」を併せ持たせ、「第5次今別町総合計画（後期計画）」に示す「地域資源を活かし交流促進でにぎわいを創出するまち」を目指します。

第1章 道の駅の概要

1-1 道の駅の概要

■「道の駅」とは？

長距離ドライブが増え、女性や高齢者のドライバーが増加するなかで道路交通の円滑な「ながれ」を支えるため、一般道路にも安心して自由に立ち寄り、利用できる快適な休憩のための「たまり」空間が求められています。

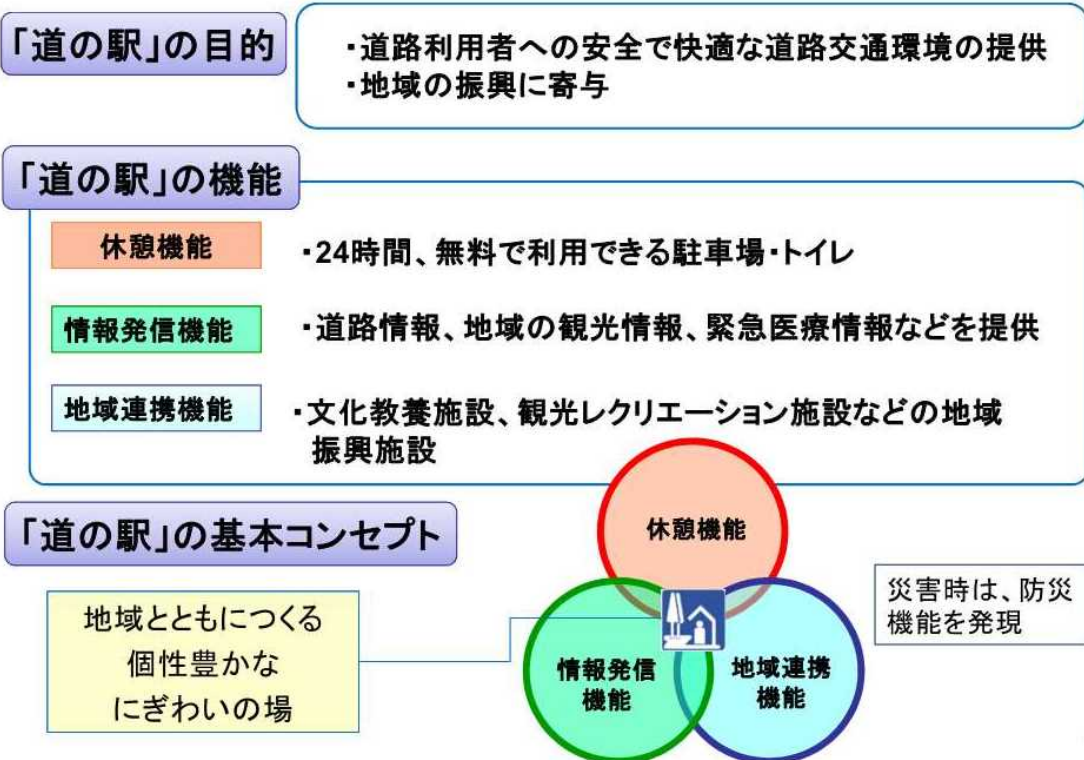
また、人々の価値観の多様化により個性的でおもしろい空間が望まれており、これらの休憩施設では、沿道地域の文化、歴史、名所、特産物などの情報を活用し多様で個性豊かなサービスを提供することができます。

さらに、これらの休憩施設が個性豊かににぎわいのある空間となることにより、地域の核が形成され、活力ある地域づくりや道を介した地域連携が促進されるなどの効果も期待されます。

こうしたことを背景として、道路利用者のための「休憩機能」、道路利用者や地域の方々のための「情報発信機能」、そして「道の駅」をきっかけに町と町とが手を結び活力ある地域づくりを共に行うための「地域の連携機能」の3つの機能を併せ持つ休憩施設「道の駅」が誕生しました。

出典：国交省

■「道の駅」の目的と機能

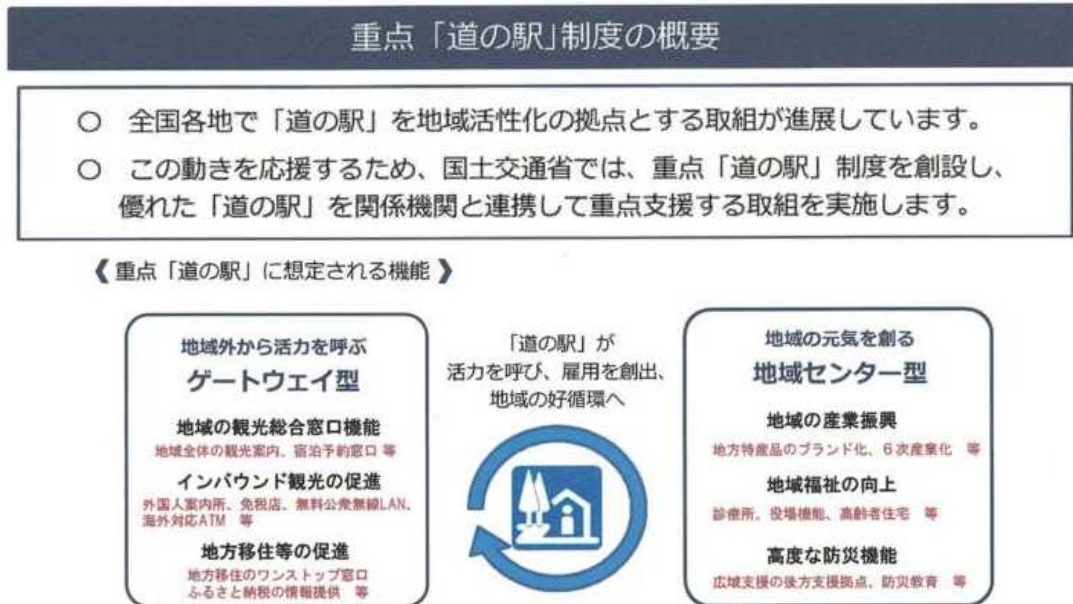


出典：国交省

1-2 重点「道の駅」制度の概要

■ 地域活性化の拠点形成等を目指した「道の駅」

「道の駅」は、地方創生を具体的に実現していくための極めて有力な手段であり、国交省では関係機関と連携して、地方創生の核となる特に優れた企画を選定し、重点的に応援する重点「道の駅」の取組を平成26年度から実施しています。



出典：国交省

■重点「道の駅」選定（全国）

- 平成26年度 35 駅 ○平成27年度 38 駅 ○平成30年度 15 駅
- 令和 元年度 15 駅

青森県内の重点「道の駅」

- 平成27年度選定 道の駅「よこはま」（横浜町）

企画提案概要

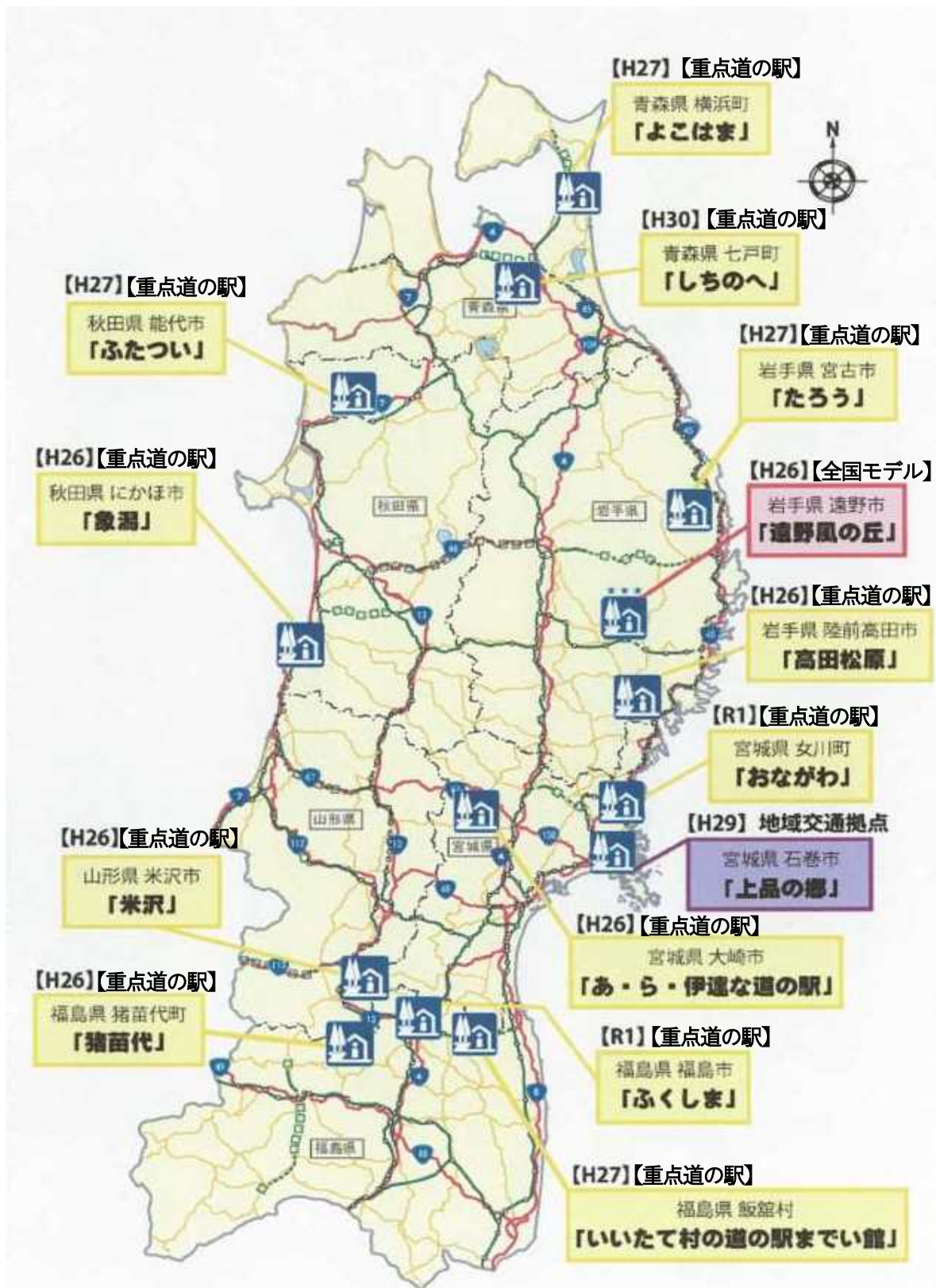
- ・高齢者でも利用できる在庫情報共有・集荷サービスの提供
- ・エリア内の施設を活用し、防災・ドクターヘリポートの運用

- 平成30年度選定 道の駅「しちのへ」（七戸町）

企画提案概要

- ・十和田奥入瀬観光のゲートウェイとして、地域DMOと連携した滞在型インバウンド観光等の商品開発
- ・農業体験や民泊ができる旅行商品の開発により都市部向けの「七戸ブランド」（長芋・にんにく等）の販路拡大
- ・子育て世代、若い世代の交流できる環境づくりにより就業の場の創出、利用しやすい道の駅を目指す

東北エリアの重点道の駅等



出典：国交省

1-3 「道の駅」第3ステージ(2020年～2025年)

新「道の駅」のあり方検討会 提言 (令和元年11月18日)



出典：国土省

第2章 道の駅いまべつの現状と基本構想の概要

2-1 道の駅いまべつの現状

1 道の駅いまべつの概要

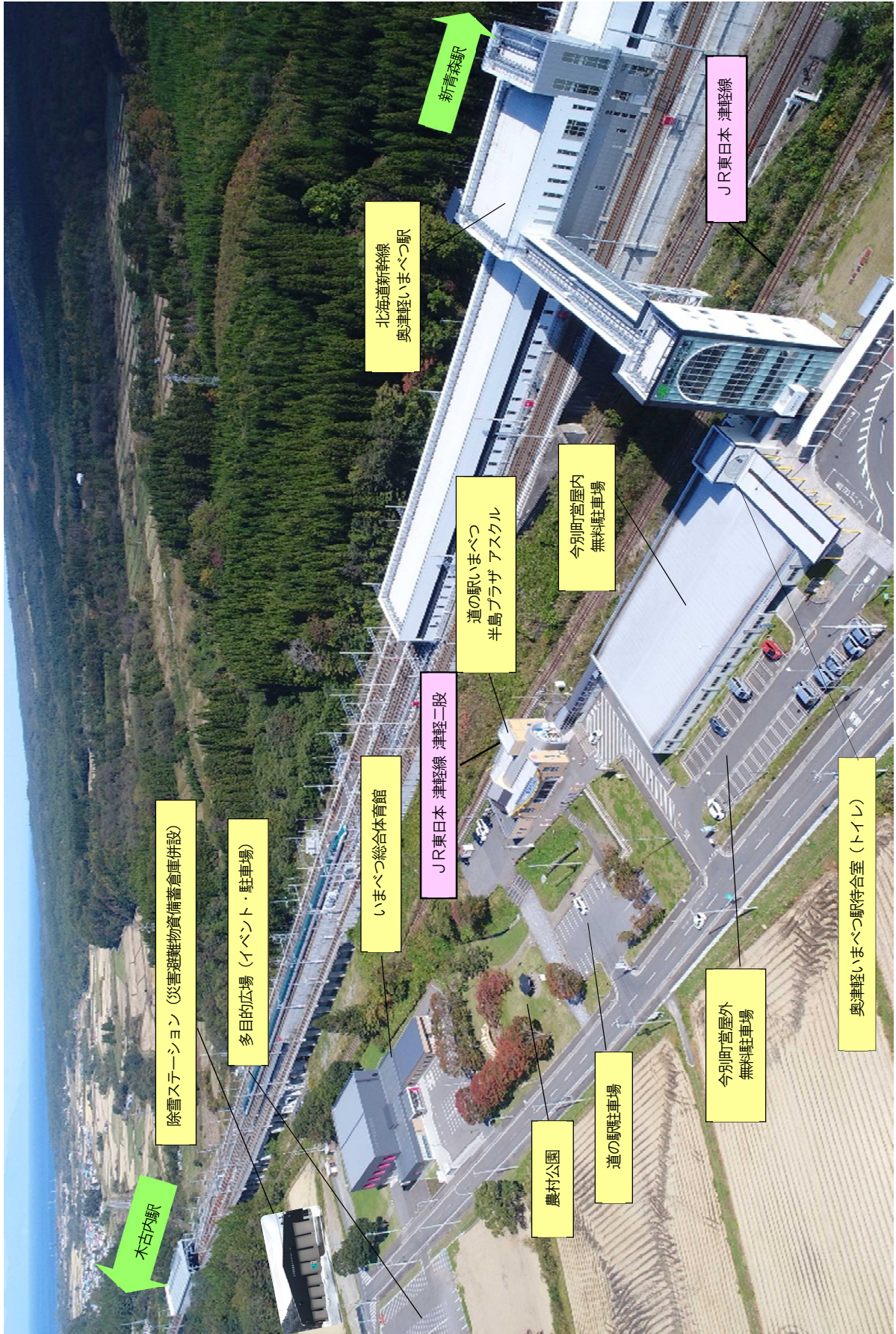
- 道の駅登録日 平成9年4月11日（登録番号12号）
- 共用年月日 平成9年4月25日
- 所在地 青森県東津軽郡今別町大字大川平字清川87番地16
- 整備形式 地方単独型
- 全体面積 12,900 m²
- 総事業費 356百万円（当初事業費231百万円、平成26年度増改築125百万円）

駐車場	今別町営屋内無料駐車場・屋外駐車場併用利用 ○道の駅駐車場(24時間利用可能) 大型3台 小型車15台 身障者1台 ○今別町営屋外無料駐車場(24時間利用可能) 小型車32台 身障者2台 ○今別町営屋内無料駐車場(24時間利用不可) 小型車46台 身障者2台	
トイレ	奥津軽いまべつ駅町待合室トイレ併用利用 ○道の駅トイレ(24時間利用可能) 男子トイレ 大2基 小4基 女子トイレ3基 多目的トイレ ○奥津軽いまべつ駅待合室トイレ(24時間不可) 男子トイレ 大2基 小3基 女子トイレ3基 多目的トイレ	
公衆電話	1台 (24時間利用可能)	
その他施設等	・休憩施設	営業時間 9:00~19:00 (12月~3月 18:00)
	・観光案内等	営業時間 9:00~19:00 (12月~3月 18:00)
	・物産展示販売	営業時間 9:00~19:00 (12月~3月 18:00)
	・レンタカー受付	営業時間 9:00~19:00 (12月~3月 18:00)
	・軽食喫茶	営業時間 10:00~15:30
	・レストラン	営業時間 11:00~15:30



△リニューアル後の道の駅

現況位置図



2 休憩機能

1) 駐車場



道の駅駐車場

大型車3台 小型車15台 身障者1台

今別町営屋外・屋内駐車場を新幹線利用者、道の駅利用者が併用利用

今別町営屋外駐車場 小型車32台 身障者2台

今別町営屋内無料駐車場 小型車46台 身障者2台

2) トイレ



△道の駅 多目的トイレ



△道の駅 授乳室・おむつ交換室

道の駅トイレ

・男子 大2基 小4基

・女子 3基

・多目的トイレ オストメイト

奥津軽いまべつ駅待合室トイレ

道の駅、新幹線利用者併用利用

・男子 大2基 小3基

・女子 3基

・多目的トイレ オストメイト

3) 休憩施設



左側：道の駅 休憩所

椅子と長椅子を設置

右側：駐車場隣接 農村公園

東屋1基 ベンチ5基 芝張

2 情報発信機能



左側：道の駅 総合案内所

観光情報、二次交通情報

レンタカー受付等

右側：道の駅 風除室

他自治体等のチラシ等を展示

3 地域連携機能

1) レストラン



道の駅 レストラン^{えき}驛

テーブル9卓 椅子36脚 子供用イスも備えている。

窓側が段差になっている。

2) 産直・物産販売



正面玄関入口に産直（野菜・魚介類・果実・いまべつ牛など）、郷土芸能「荒馬」グッズや町の木「ヒバ」加工品等を展示販売。展示販売エリアの奥に県内のお土産等を展示販売。

3) コミュニティ・交流施設



左側：道の駅駐車場に隣接する農村公園 老朽化した遊具が撤去され、ベンチ、東屋のみとなっている。
中央(右)：「いまべつ総合体育館」の向かいの「多目的広場」はイベント、駐車場として使用している。
中央(左)：「多目的広場」に隣接する土地をキッズ広場、緑地公園とすることを検討している。
右側：「いまべつ総合体育館」、「道の駅いまべつ」、「奥津軽いまべつ駅」と一体的利用が課題となっている。

4 防災機能



左側：駅非常用電源装置（令和3年度設置） 停電時、現道の駅の電気をカバーする。
中央：「いまべつ総合体育館」内に災害支援物資を備蓄している。（町・JR北海道共同）
右側：除雪ステーション（災害支援物資備蓄倉庫内）（令和3年度設置）

5 その他

1) 道の駅施設



左側：道の駅いまべつ正面入口 看板絵が劣化している。
中央：道の駅いまべつへの案内表示板 「分かりづらい」などの苦情がある。
右側：「いまべつ総合体育館」等への案内表示板がない。

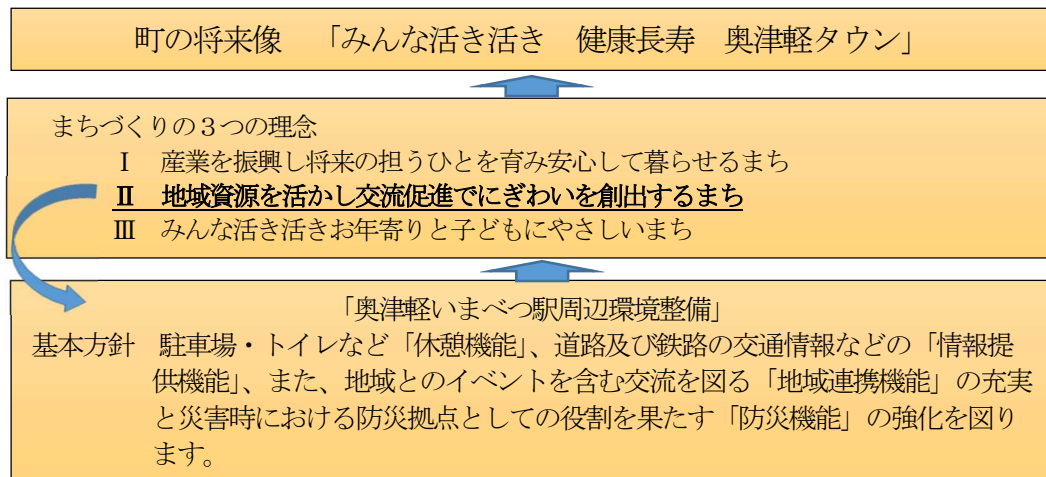
2) 地域間交流



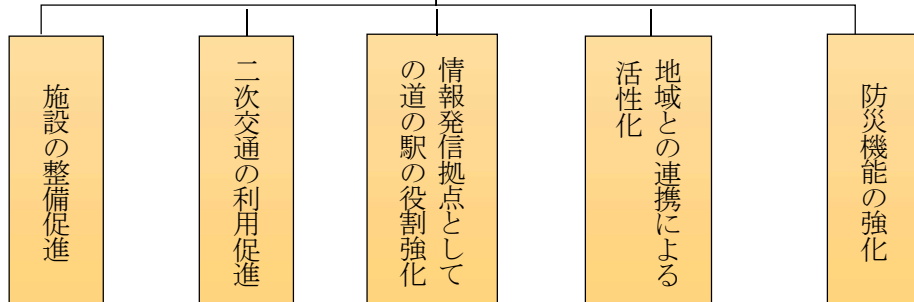
左側：冬イベント「いまべつ冬のリヒト(リヒト ドイツ語：ひかり)」(道の駅いまべつ協賛)、道南の知内町、木古内町からの出店や町PRで来町、道の駅いまべつや近隣町村からも出店がある。
 中央：多目的広場で開催した「奥津軽いまべつ駅開業5周年記念イベント」(道の駅いまべつ協賛)キャラクターは中泊町イメージキャラクター「米ケル(マイケル)」。
 右側：毎年開催している「いまべつ交流バドミントン大会」(町バドミントンクラブ主催)道の駅へ昼食を依頼するなど道の駅PRを継続している。

2-2 基本構想の概要

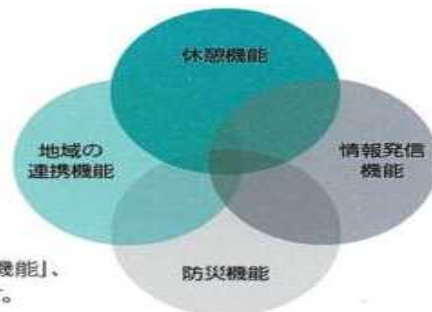
1 今別町総合計画後期計画における位置付け



主な施策



今別町が目指す道の駅の機能
 これまでの3つの機能「休憩機能」、「情報発信機能」、「地域の連携機能」に「防災機能」を加えます。



出典：今別町総合計画後期計画

2 基本コンセプト及び整備方針

○再整備の目的

- ・ 地場製品のPR強化と地元農・漁業者等から出品される販売拠点の充実
- ・ 町及び津軽半島エリアの観光情報等の発信強化と交流人口の拡大
- ・ 「道の駅いまべつ」、「いまべつ総合体育館」を一体的とした防災機能の強化

○基本コンセプト

「自然の豊かさを満喫し、ゆっくりくつろぎ、今別の食の感動体験ができる”道の駅”」

○整備方針

(1) ゆとりある駐車場とゆっくりくつろげる空間の整備

(2) 情報発信強化に向けた拠点の整備

(3) 物産販売エリアの充実と交流の場の整備

(4) 防災機能等を持つ地域防災拠点の整備

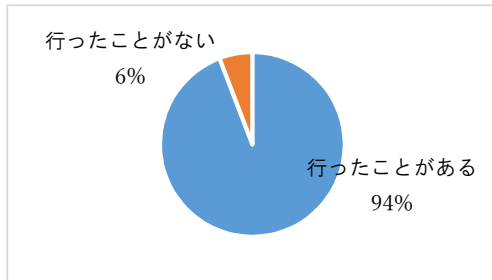


第3章 町民・利用者ニーズ調査

3-1 町民アンケート

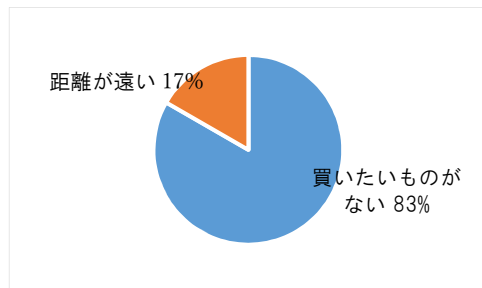
18歳以上の町民200人を無作為で抽出。 回答率43%

問1 リニューアルした「道の駅いまべつ」に行ったことがありますか。
(選択肢から1つ選んでください)

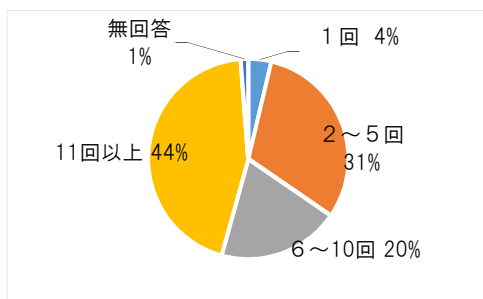


94%の方が道の駅に「行ったことがある」と回答、回答者のうち男性が46.2%、女性が53.8%となっている。

問2 問1で「2 行ったことがない」と回答した方のみお答えください。これまで行かなかった理由はどれですか。(選択肢から主なものを1つ選んでください)

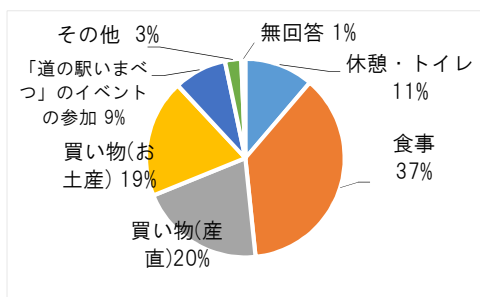


問3 平成27年4月のリニューアルオープンから、これまでに利用された回数は何回ですか。
(選択肢から1つ選んでください)



「11回以上」利用された方が最も多く44%、次いで「2~5回」利用された方が31%となっている。年齢別では「11回以上」の女性が2.7%と一番多くなっている。

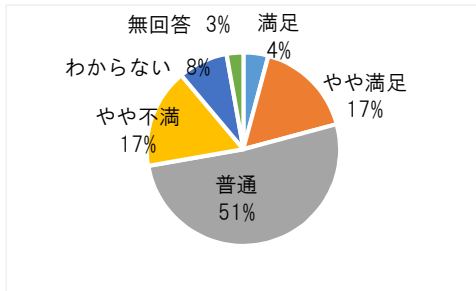
問4 利用された目的はなんですか。(選択肢から主なものを2つ選んでください)



利用された目的では「食事」が37%と最も多く、次いで「買い物(物産)」が20%、「買い物(お土産)」が19%となっている。また、目的が「食事・買い物(物産)」が29.6%と最も多く、次いで「食事・買い物(お土産)」が17.8%、「買い物(産直)」、「買い物(お土産)」がそれぞれ5%となっている。

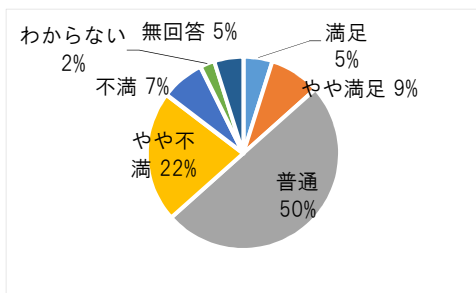
問5-1 「道の駅いまべつ」の満足度はいかがですか。(①～⑦のそれぞれについて1つ選んでください)

①買い物(産直)



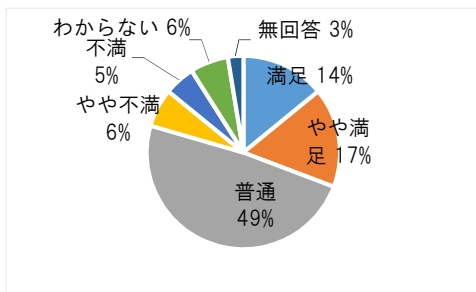
買い物(産直)の満足度は「普通」が51%と最も多く、次いで「やや満足」、「やや不満」は17%となっている。

②買い物(お土産)



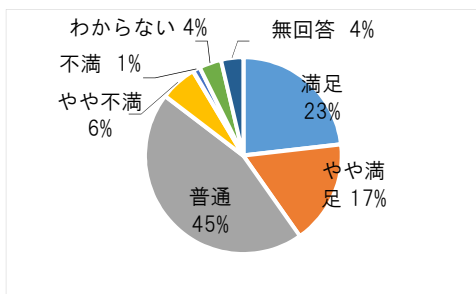
買い物(お土産)の満足度は「普通」が50%と最も多く、次いで「やや不満」が22%、「満足・やや満足」が14%となっている。

③レストラン



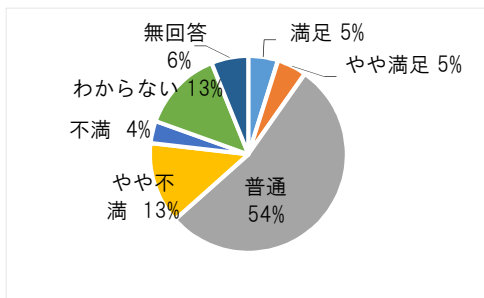
レストランの満足度は「普通」が49%と最も多く、次いで「やや満足」17%、「やや不満・不満」が11%となっている。

④トイレ



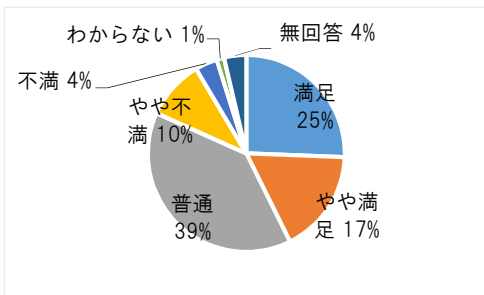
トイレの満足度は「普通」が45%、次いで「満足」が23%、「やや不満・不満」が7%となっている。

⑤情報コーナー



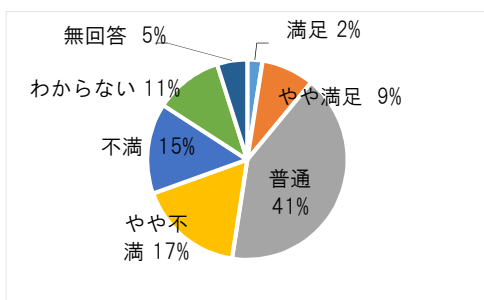
情報コーナーの満足度は「普通」が54%と最も多く、次いで「やや不満」、「わからない」が13%、「満足・やや満足」が10%となっている。

⑥駐車場



駐車場の満足度は「普通」が39%と最も多く、次いで「満足」が25%、「不満・やや不満」が14%となっている。

⑦公園・広場



公園・広場の満足度は「普通」が41%と最も多く、次いで「やや不満」が17%、「満足・やや満足」が11%となっている。

問5-2 問5-1で「満足」、「やや満足」に回答された方に伺います。満足度の理由をお聞かせください。

①買い物(産直)

- ・新鮮な野菜、魚等を安い値段で購入できる。
- ・まんべんなく季節の物を置いてあり、買い物がしやすい。
- ・ぶどうやかぼちゃ等はいつ入荷するかの告知があると良い。
- ・地産地消ができるのは町の生産者のやりがいにもつながっていると思う。
- ・「いまべつ牛」が買える。

②買い物(お土産)

- ・青森市内に行かなくても購入できる。
- ・県内で人気の商品がある程度品数が揃っている。
- ・手作り工芸品等の多さ、食品、乾燥品等の品数が多い。

③レストラン

- ・味が良い、ボリュームもある。
- ・いまべつ牛を使った料理に満足。

- ・美味しい食事ができるよう工夫している。
- ・地元で食事処が少ないので助かっている。
- ・町の特産品を使った料理が安定して食べられる。

④トイレ

- ・清掃が行き届いていて、清潔である。

⑤情報コーナー

- ・町の観光スポットなどきちんと載っている。
- ・情報がたくさんあって便利。
- ・PR 動画が面白い。

⑥駐車場

- ・駐車場が何カ所もあるので停められる。
- ・屋内駐車場が無料なので利用しやすい。
- ・屋内駐車場は冬期間利用しやすい。
- ・清掃されていて、きれい。
- ・十分なスペースが確保されている。
- ・少し寄る方には無料は良いと思うが長期的に利用する方からは若干のお金をもらって良いと思います。

⑦公園・広場

- ・きれいに整備されて大変良い。
- ・子どもが楽しく遊べる。
- ・眺めが良い。
- ・散歩にちょうど良い。
- ・秋まつりなどイベントができる。

問5-3 問5-1で「やや不満」、「不満」に回答された方に伺います。満足度の理由をお聞かせください。

①買い物(産直)

- ・品数が少ない。
- ・スペースが小さい、地元の活用が収客につながっていない。地域の特産が来場者に伝わりにくい。
- ・産直は別棟のほうが良い。
- ・買いたいと思わせるものがない。買いたいものが売り切れの時がある。
- ・安定して提供されていないように感じる。
- ・売り場面積が狭い。
- ・季節感があっても良い。
- ・賞味期限の商品が売っていた。

②買い物(お土産)

- ・品数が少なく、これといったものがない。
- ・軽トラ市を道の駅で行ったり、地元の人がお中元、お歳暮、その他に送るプランを作るなど、地元の人が使いやすくすると良い。
- ・どこにでも売っている商品ばかりで楽しくない。利用客が増える時期は品数を多くしてはどうか。
- ・お土産コーナーを少し広くしたほうが良い。

- ・配送手続きができない。商品を入れる発泡スチロール等があれば良いと思う。きめ細かな対応が必要。
- ・有名なお土産がない。(ラグノオ、アルパジョン、ジークフリードなど)
- ・町民に必要なものが多い。

③レストラン

- ・町の特産品(サーモン・イノシシ)を活かしたメニューを増やしてほしい。
- ・「いまべつ牛定食」の売り切れ日が多かった。
- ・メニューを増やしてほしい。
- ・閉店時間が早い。
- ・喫茶、軽食メニューを増やせば、子どもから大人までいつでも気軽に行きやすくなる。
- ・メニューがマンネリ化、値段が高い。
- ・時々味が違うときがある。
- ・日によって食べ物が限定される。

④トイレ

- ・トイレ内が暗いイメージがある。
- ・場所が分かりづらい。
- ・冬期間が不便、特に夜間使用時。
- ・臭い。
- ・便器数が少ない。

⑤情報コーナー

- ・情報が少ない。
- ・目が引かれない、暗い、お得な情報等が分かりづらい。
- ・もっと発信力があっても良いのでは。
- ・今別以外の地域とコラボレーションし、他地域との人の流れを作ると良い。
- ・観光ガイド的な人がいると良いと思う。
- ・荒馬も分かるがそれしか押す情報がないんだらうか。同じ人が何回来てても楽しいと感じないとリピーターにならないと思います。
- ・パンフレット、地図が多く占めていて、「ようこそ」の要素が乏しい。

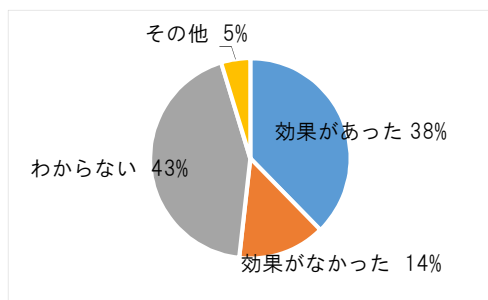
⑥駐車場

- ・仕事関係者の車が多く停めにくい。
- ・もう少し広いと便利。
- ・階段やスロープを利用しないと施設に行けないのでやや不便。
- ・階段の段差が大きすぎて子どもは登れない。
- ・入口、駐車スペースが狭い。
- ・階段やスロープを使わずに施設に入りたい。
- ・空車の表示とわかりにくい。

⑦公園・広場

- ・子どもが遊ぶ遊具等が全く整備されていない。
- ・子どもやペットを連れた方の遊び場が少ない。
- ・花とかベンチがあれば良い。
- ・あまり活用されていないと思えるので大きなモニュメントを設置するなどして、記念写真等に使える良いのでは。

問6-1 「道の駅いまべつ」の利用客は平成27年度12万5千人、平成28年度18万3千人、平成29年度13万7千人、平成30、令和元年度11万9千人、令和2年度はコロナ禍の影響もあり9万2千人ですが、町の経済や観光などに波及効果があったと感じられますか。(選択肢から1つ選んでください)

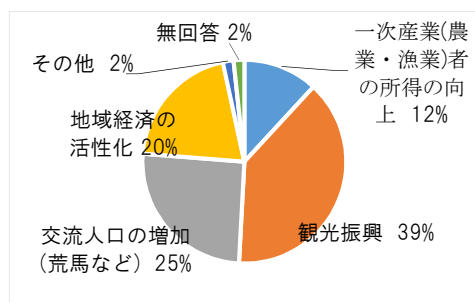


町の経済や観光などに波及効果があったと感じられますかについては、「わからない」が43%と最も多く、次いで「効果があった」が38%、「効果がなかった」が14%となっている。

その他：意見等

- ・県のPR等で本州最北の駅を知らせることができた。しかし、経済、観光の基盤がないため効果はなかったように感じます。
- ・1年で考えると町の経済はプラスではなく、マイナスになっている部分だと思う。人を引きつける魅力が不足しているのではないかと、また、周辺は草木が生い茂り景観が悪いと感じます。
- ・道の駅に対する利用価値が高く、とても良い姿勢だと思うがそこを基点に町内のお店めぐりや観光につながったかを聞かれると正直わからない。

問6-2 問6-1で「1 効果がかなりあった」「2 効果があった」と回答した方に伺います。どのような効果があったと感じていますか。(選択肢から2つ選んでください)



町の経済や観光などにどのような波及効果があったかについては、「観光振興」が39%と最も多く、次いで「交流人口の増加(荒馬など)」が25%、「地域経済の活性化」が20%、一次産業(農業・漁業)者の所得向上が12%となっている。

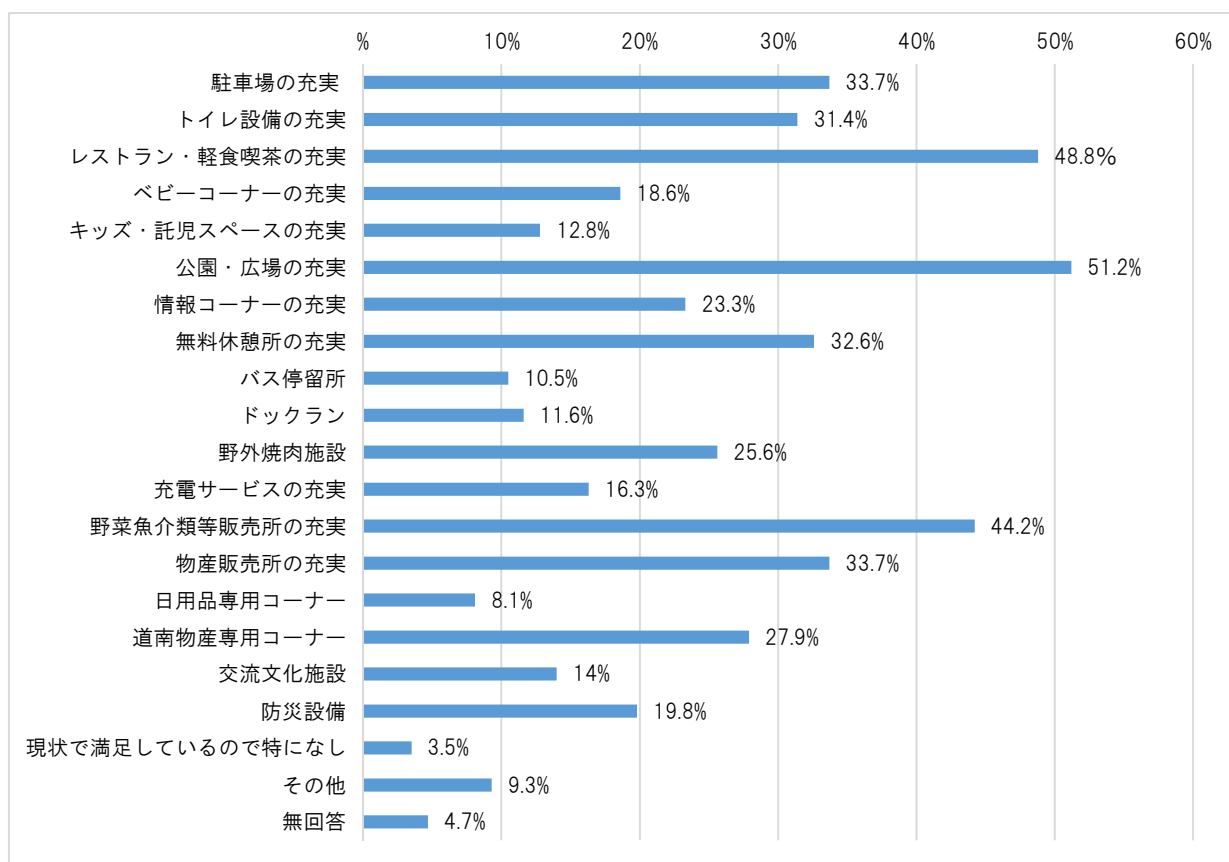
その他：意見等

- ・就業の場の確保ができた。

問6-3 問6-1で「3 効果がなかった」と回答した方に伺います。効果がなかったと感じる理由をお聞かせください。

- ・活気がない。無駄遣い。
- ・通年を通して人の出入りが少ない。
- ・人が行き来していると思うが来るだけの人が多いんじゃないでしょうか？物を買う、売りを基本とする場合、ただの通り道になっている。品揃えを見たり、店内の雰囲気や人を喜ばせる、また来てほしいの雰囲気が不足している。
- ・今別に来る県外の方が多くなか、経済的に今別にお金を落としてくれた人が多かったとは思えない。経済的に県外の方がお金を使う場所がニコットやファミマになってしまうのはどうなのか。
- ・開業後、道路沿いの飲食店が次々廃業、町内に影響があるのではないかと。

問7 「道の駅いまべつ」及び駅周辺の魅力を向上するためにどのような設備、施設があれば良いと思われますか。（選択肢から思われるものすべて選んでください）

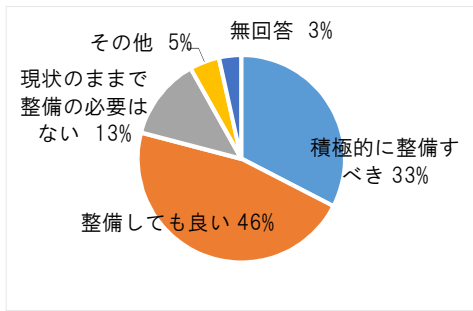


「道のいまべつ」及び駅周辺の魅力を向上するためにどのような設備、施設があれば良いかでは、「公園・広場の充実」が51.2%、次いで「レストラン・軽食喫茶の充実」が48.8%、「野菜魚介類等販売所の充実」が44.2%、「現状で満足しているので特になし」が3.5%となっている。

その他：意見等

- ・費用対効果、冬期間の売上げ、利用減を考えると運営したい業者に任せ、公金の支出を最小限にした方が良い。
- ・目的にあったものを充実させれば良いと思う。
- ・駅の近くに歩く範囲内に観光スポットを増やさないと降りても時間が余る。
- ・コテージや川等でバーベキューができる自然と遊べる場所があると良い。
- ・「軽くお茶・・・」と集う場所が町にないので外からだけでなく町内の人も気軽に立ち寄れるスペースにし、体育館をもっと活用し、町内の情報を観光ボランティアや施設、観光ルートも含めて町内周遊コースとして紹介したりすればどうか。
- ・キャンプ等で訪れる人が多いなか、必要とするものを揃えるのが結果的に口コミにつながるのではないかと。
- ・アイスクリーム、パフェなど若い人たちに人気の商品を売る。
- ・無料が多い。
- ・駅周辺の散策地（上股溪流、袴腰岳）の道路、トイレ、案内板の整備
- ・道路から道の駅が見えるように木や草の手入れをして、景観を良くする。
- ・釣り餌等を置くことで釣り人がたくさん来ると思う。
- ・コンビニ

問8 問7で「道の駅いまべつ」及び駅周辺にあれば良いと思われるものを伺いましたが道の駅及び周辺の再整備についてどう思われますか。(選択肢から1つ選んでください)

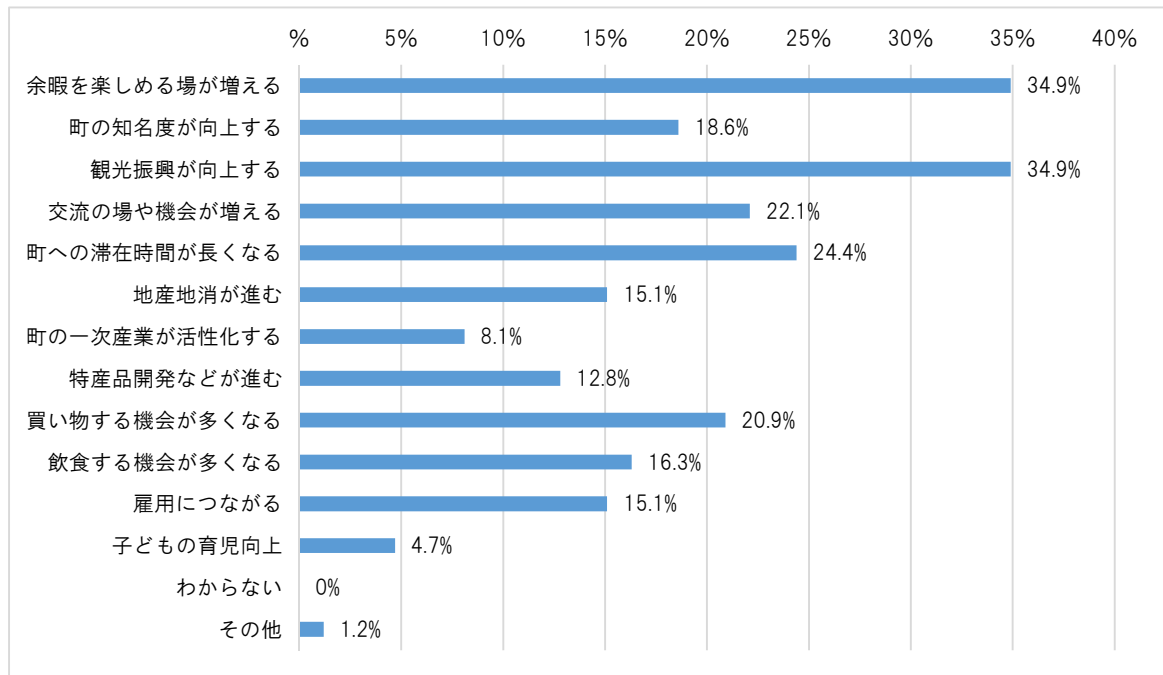


道の駅及び周辺の再整備については、「整備しても良い」が46%、次いで「積極的に整備すべき」が33%、「現状のままで整備の必要はない」が13%となっている。

その他：意見等

- ・町の予算、これからの人口を考えると現実的に整備してプラスになれば良いが・・・わからない。
- ・利益につながる施設を希望する。駅前の道路にある木や今別から駅までの環境整備をお願いします。自然を大切にの前に、周りの環境整備が必要。
- ・整備するというよりはあるものを工夫して有効活用する。
- ・観光客が減少しているのに道の駅だけで収入を上げようというのは難しいと思います。
- ・今別にきれいな「花畑」を見に来るように空いている土地を利用する。

問9 問8で「1 積極的に整備すべき」、「2 整備しても良い」と回答された方に伺います。どのような効果をもたらすことを最も期待しますか。(選択肢から3つ選んでください)



どのような効果をもたらすことを最も期待するかについて、「余暇を楽しめる場が増える」、「観光振興が向上する」が共に34.9%と最も多く、次いで「町への滞在時間が長くなる」が24.4%、「交流の場や機会が増える」が22.1%となっている。

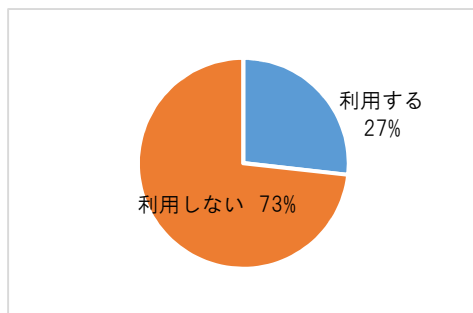
その他：意見等

- ・帰省しやすくなり、UIターンのきっかけとなる。

問 10 問8で「3 現状のままで整備の必要はない」と回答された方に伺います。選んだ理由をお聞かせください。

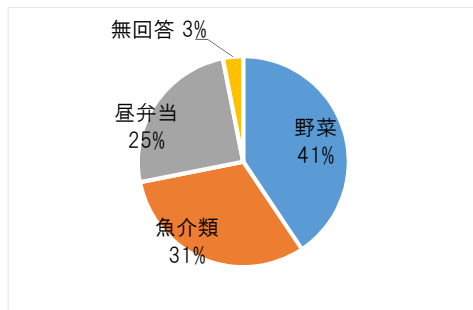
- ・町民アンケートも良いが利用客へのアンケートをお願いすることも大事だと思います。
- ・人口減少で整備しても無駄と思う。
- ・費用対効果が良くない。
- ・周りの景色も良くなるということは滞在期間も長くなる。その間、飲食も増え、買い物もじっくり見る人が増える。多くの地産があるなか、利益をつくる販売方法を検討する。
- ・駐車場とか広いのでこのままで良い。
- ・今まで整備を進めてきて効果があったとは思えない。

問 11-1 道の駅で販売している商品等を宅配するサービスがあれば、利用しますか。(選択肢から1つ選んでください)



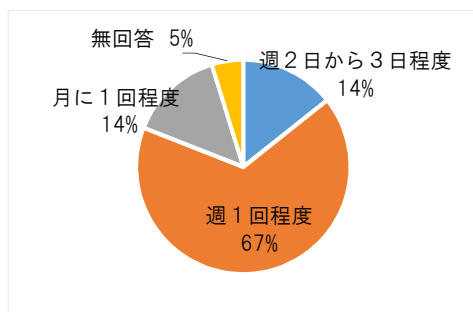
宅配サービスがあれば、利用しますかについて、「利用しない」が73%、「利用する」が27%となっている。

問 11-2 問 11-1 で「1 利用する」と回答された方に伺います。どのような商品の宅配サービスがあれば良いと思いますか。(選択肢から思われるものすべて選んでください)



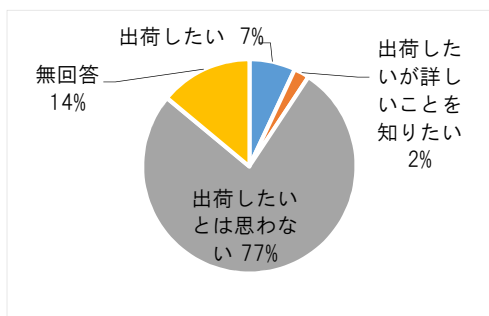
どのような商品の宅配サービスがあれば良いかについて、「野菜」が41%で最も多く、次いで「魚介類」が31%、「昼弁当」が25%となっている。

問 11-3 問 11-1 で「1 利用する」と回答された方に伺います。どれくらいご利用しますか。(選択肢から1つ選んでください)



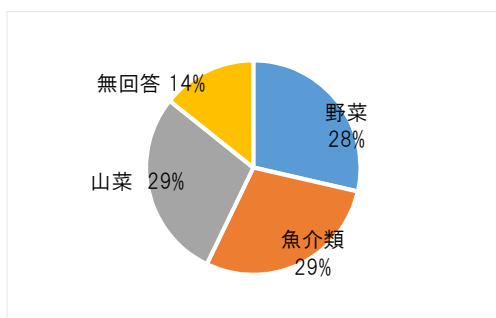
どれくらい利用するかについて、「週1回程度」が67%で最も多く、次いで「週2日から3日程度」、「月に1回程度」が共に14%となっている。

問 12-1 現在、道の駅直売所に野菜や魚介類を出荷している方は「直売所会員に登録し、出荷協議会に加盟している」方々です。あなたも会員に登録し、出荷協議会に加盟して、「野菜」や「魚介類」等を出荷したいと思いますか。（選択肢から1つ選んでください）



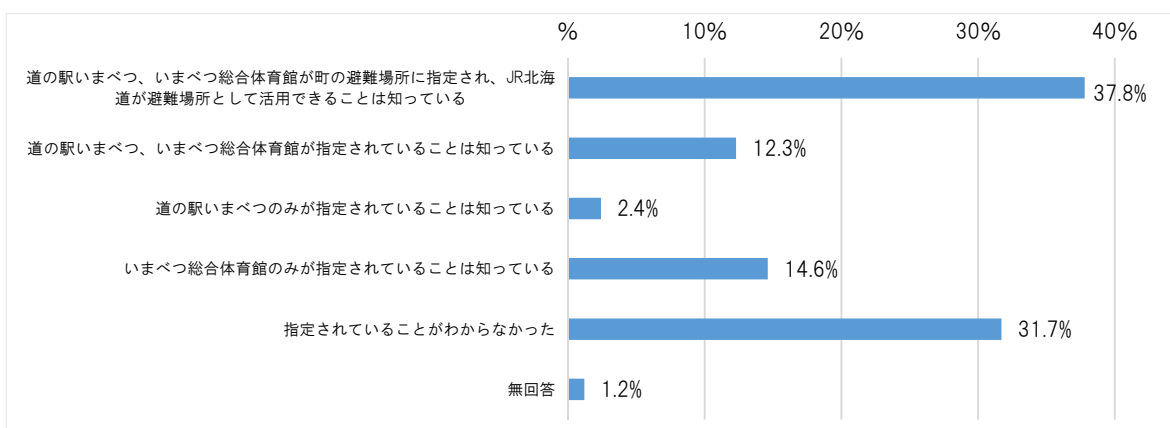
道の駅に「野菜」等を出荷したいと思いませんかについて、「出荷したいと思わない」が77%、「出荷したい・出荷したいが詳しいことを知りたい」が9%、「無回答」が14%となっている。

問 12-2 問 12-1 で「1 出荷したい」、「2 出荷したいが詳しいことを知りたい」と回答された方にお伺いします。どのようなものを出荷したいと考えていますか。（選択肢から該当するものすべて選んでください）



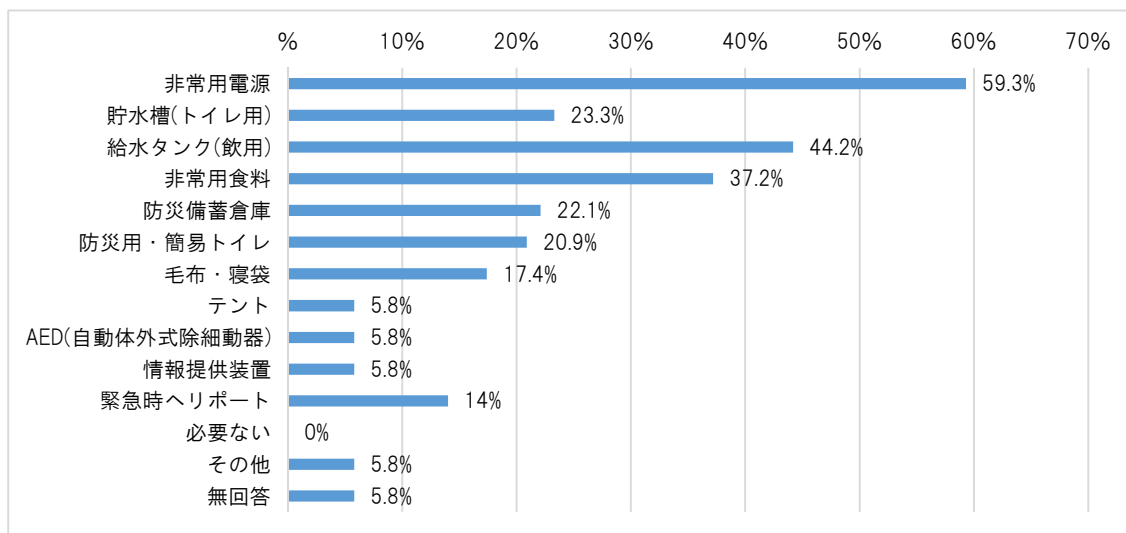
どのようなものを出荷したいかについて、「魚介類」、「山菜」が29%、「野菜」が28%、「惣菜・果物」は0%となっている。

問 13 「道の駅いまべつ」、隣接する「いまべつ総合体育館」は今別町の「指定避難所」に指定され、また、「いまべつ総合体育館」は町とJR北海道と連携し新幹線の災害時等の避難場所として活用できる協定を締結しているほか、災害支援物資を共同で体育館に備蓄していますがご存知でしょうか。（選択肢から1つ選んでください）



避難場所等については「道の駅いまべつ、いまべつ総合体育館が町の避難場所に指定され、JR北海道が避難場所として活用できることは知っている」が37.8%と最も多く、次いで「指定されていることがわからなかった」が31.7%、「いまべつ総合体育館のみが指定されていることは知っている」が14.6%となっている。

問 14 近年の全国各地で大規模災害の発生、震災の教訓から防災対策に対する国民の災害に対する意識が大きく変化しています。青函トンネルの避難駅を担っている「奥津軽いまべつ駅」、新幹線の災害時等の避難場所として活用できる「いまべつ総合体育館」、道路災害時（小国峠：県道 14 号など）ドライバーの避難場所となっている「道の駅いまべつ」、鉄道、道路の防災機能を有しているエリアとなっていますが、将来を見据えてどのような防災設備が必要だと思いますか。（選択肢から 3 つ選んでください）



将来を見据えてどのような防災設備が必要かについて、「非常用電源」が 59.3%と最も多く、次いで「給水タンク(飲用)」が 44.2%、「非常用食料」が 37.2%、「緊急時ヘリポート」が 14%となっている。

その他：意見等

- ・ダンボールベッド
- ・生理用品、おむつ(子ども・大人用)、粉ミルク、大人用栄養価の高いドリンク

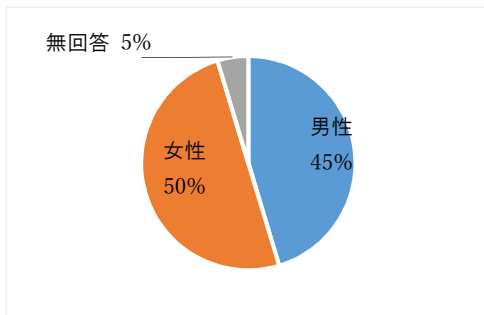
問 15 「道の駅いまべつ」について、ご意見やご提案などがあれば、自由にご記入ください。

- ・道の駅は町のイメージとなる場所です。道の駅が活性化されないと今別に魅力を感じて来る方も減少します。そのカギとなるのが「地元の方が活用する場」であると考えます。
- ・休憩所とありますがどこで休んで良いのかかわからない。場所が小さいのではないですか。軽食喫茶に期待します。
- ・他県の道の駅の視察、その地域のメリット、デメリットを聞くべきではないか。ただ、他施設のマネでなく、地元に合うものを考えるべきです。また、インターネット販売を行なうなど、やってみることも必要でないでしょうか。
- ・手作り弁当やパンなど、買ってすぐ食べられるものを置いてあると町内の人でも立ち寄る機会が増えるのではないかと。買い物が難しい高齢者への宅配は良いと思います。
- ・いまべつ牛やいのししハンバーグなど、今別ならではのものがたくさんあるのでもう少しアピールをしても良いのではないかと。
- ・店内の雰囲気が暗い、光の入り方があまりないのではないかと。特産品「いまべつ牛」を隅に置くのはもったいないと感じます。伝えたい内容のポスター等を使ってはどうかと。町外へアピールしていくことが重要ではないだろうか。
- ・子ども連れが来やすい場になってほしい。県内のある道の駅は子どもから高齢者までたくさんの方がいます。子どもを遊ばせると 1 時間から 2 時間いたりするので同じ場所で買い物、ご飯を済ませるのは魅力です。他の道の駅等には温泉、滑り台等があり、焼肉もでき、電車が見えるなど特色があります。今別は新幹線があるのでこれに関連したアスレチックがあったら面白いと思

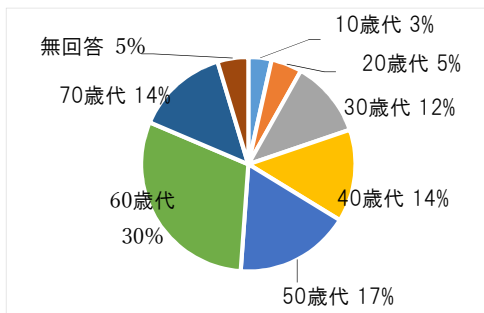
ます。

- ・お土産ものや地場産品など買って出かけたのですが朝のオープン時間が遅くて買えませんので売店だけでももう少し早いオープンなら良いと思います。
- ・いつでもパスタとかが食べられればいい。かぼちゃのソフトクリームの期間を長くしてほしい。
- ・道の駅来場者へ簡易的なアンケートをお願いしてはどうか。
- ・道の駅として小さくて、狭い。そのわりに飲食、販売、物販、観光案内所、レンタカー等の機能を詰めすぎと思います。増築等で売り場面積の拡張、それに伴う駐車スペースの拡張を行って良いと思います。
- ・青森のお土産として有名な生菓子も取り扱ってほしい。
- ・駐車場と建物の段差をなくしてほしい。階段やスロープを使わないで施設を利用したい。駐車場はトイレが近いほうが印象は良い。
- ・自転車を停めるスペースを明確にしてほしい。
- ・「道の駅いまべつ」は町にとって大きな財産であり、増々力を入れて発展させて行ければと思います。防災に関する事項を合わせて、もっと町民にアピール、周知し、若者、子供たちにも誇りを持たせていただきたい。

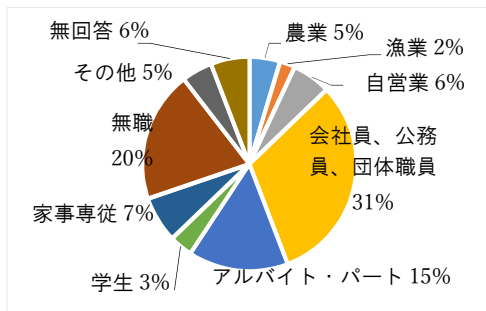
問 16-1 あなたの性別をお答えください。(選択肢から1つ選んでください)



問 16-2 あなたの年齢は次のどれにあてはまりますか。(選択肢から1つ選んでください)



問 16-3 あなたのご職業は次のどれにあてはまりますか。(選択肢から1つ選んでください)

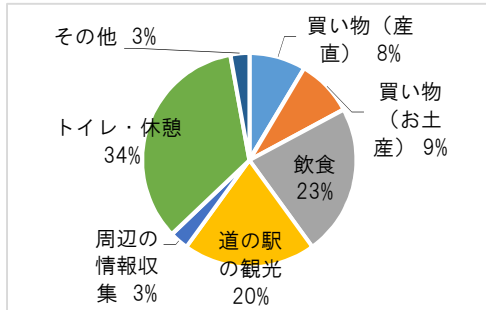


3-2 道の駅来場者アンケート

期 間 令和3年8月1日(日)から8月31日(火)

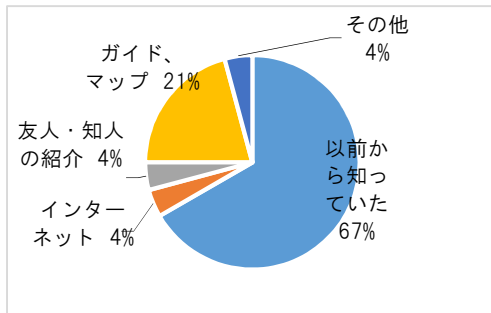
回答者 24人

Q1 今回、道の駅いまべつへの来訪目的は何ですか。



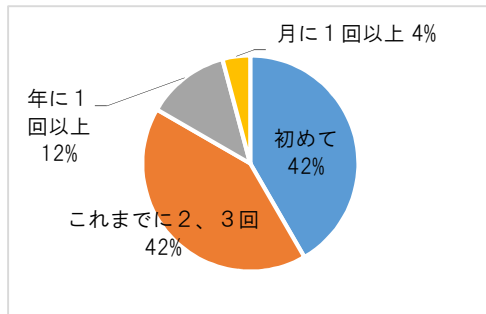
来訪目的は、「飲食」が23%と最も多く、次いで「トイレ・休憩」が34%、「道の駅の観光」が20%となっている。目的が「飲食、トイレ・休憩」の方は全体の16%となっている。

Q2 道の駅いまべつを何で知りましたか。(複数回答)



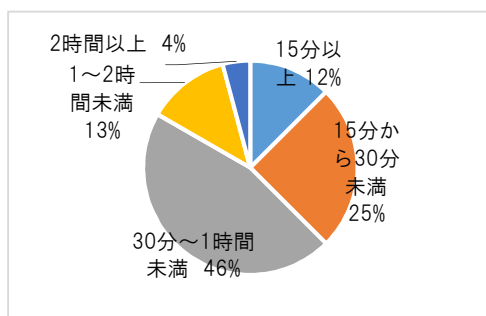
道の駅いまべつを何で知ったかについては、「以前から知っていた」が67%と最も多く、次いで「ガイド、マップ」が21%となっている。「その他」では「奥津軽いまべつ駅で知った」と回答があった。

Q3 道の駅いまべつへの来訪頻度をお知らせください。



来訪頻度は「初めて」、「これまでに2、3回」が42%と最も多く、次いで「年1回以上」が12%となっている。

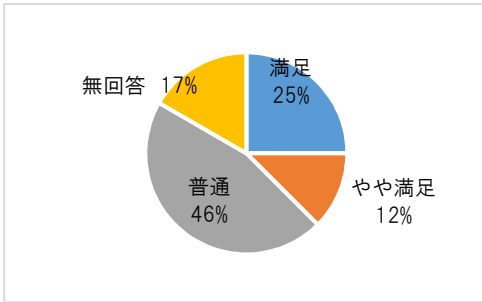
Q4 今回道の駅いまべつへの滞在時間はどれくらいですか。



滞在時間は「30分～1時間未満」が46%と最も多く、次いで「15分から30分未満」が25%、「1～2時間未満」が13%となっている。

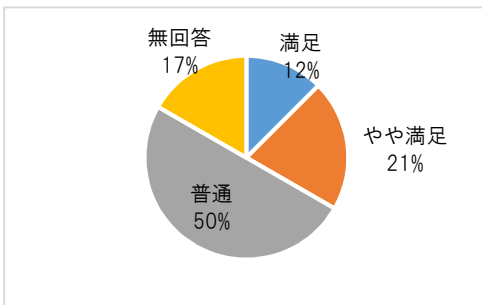
Q5 道の駅いまべつの満足度はいかがですか。

ア 買い物（産直）



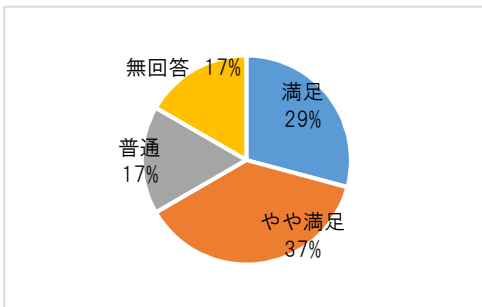
買い物(産直)の満足度は「普通」が46%と最も多く、次いで「満足・やや満足」が37%、「やや不満・不満」の回答者はなかった。

イ 買い物（お土産）



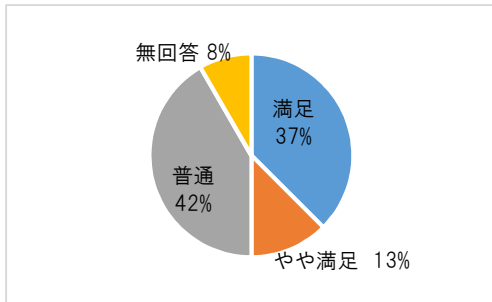
買い物(お土産)の満足度は「普通」が50%と最も多く、次いで「満足・やや満足」が33%、「やや不満・不満」の回答者はなかった。

ウ 飲食



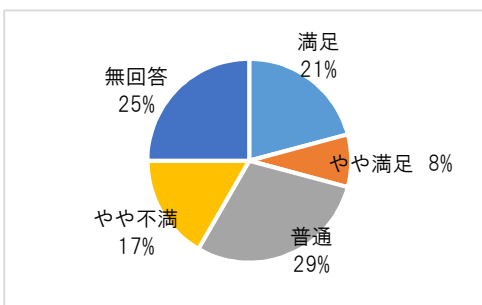
飲食の満足度は「やや満足」が37%と最も多く、次いで「満足」が29%、「普通」が17%となっている。「やや不満・不満」の回答はなかった。

エ トイレ



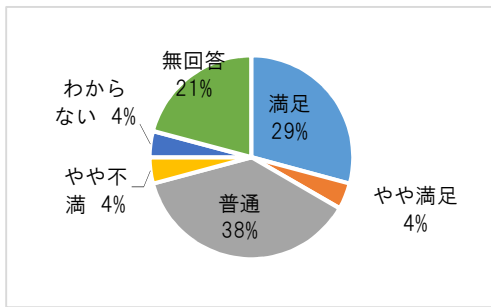
トイレの満足度は「普通」が42%と最も多く、次いで「満足」が37%、「やや満足」が13%となっている。「やや不満・不満」の回答はなかった。

オ 情報コーナー



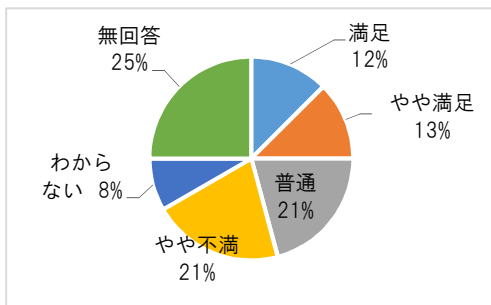
情報コーナーの満足度は「普通」が29%と最も多く、次いで「満足」が21%、「やや不満」が17%となっている。「無回答」が25%であった。

カ 駐車場



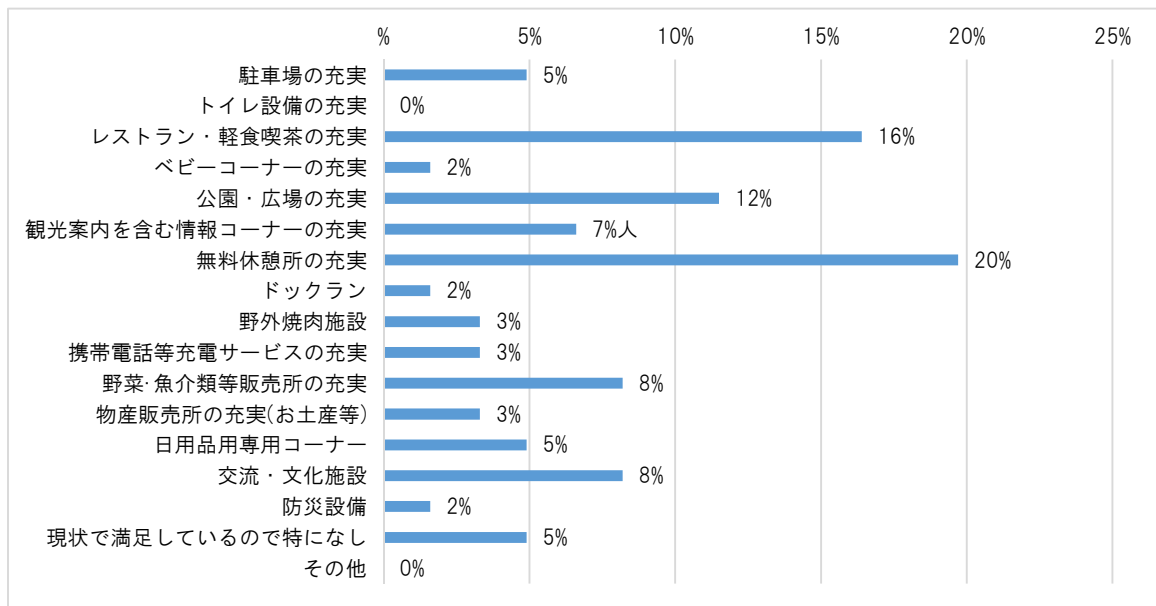
駐車場の満足度は「普通」が38%と最も多く、次いで「満足」が29%、「やや満足」、「やや不満」が4%となっている。「無回答」は21%であった。

キ 公園・広場



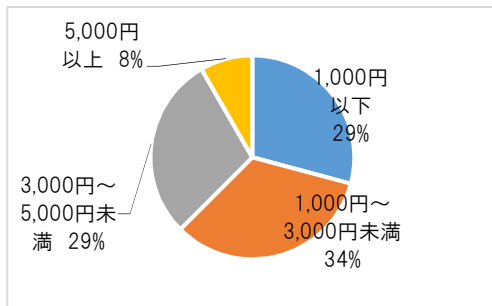
公園・広場の満足度は「無回答」が25%と最も多く、次いで「普通」、「やや不満」が21%、「やや満足」13%、「満足」12%となっている。

Q6 道の駅いまべつの魅力向上のためにどのような施設・設備があったら良いと思いますか。(上位5つまで回答)



どのような施設・設備があったら良いかでは「無料休憩所の充実」が20%と最も多く、次いで「レストラン・軽食喫茶の充実」が16%、「公園・広場の充実」が12%となっている。「野菜・魚介類等販売所の充実」が8%、「物産販売所の充実(お土産等)」が3%、「現状で満足しているので特になし」が5%であった。

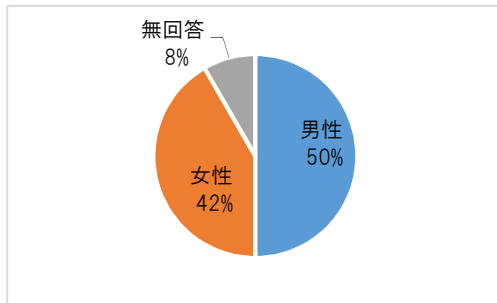
Q7 道の駅でどのくらいお金を使いましたか。



どのくらいお金を使うのかでは、「1,000円～3,000円未満」が34%と最も多く、次いで「1,000円以下」、「3,000円～5,000円未満」の29%となっている。「使わない」との回答はなかった。

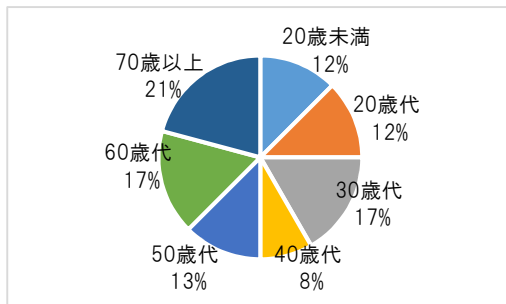
Q8 あなたの性別、年代、来訪人数についてお聞きします。

ア 性別



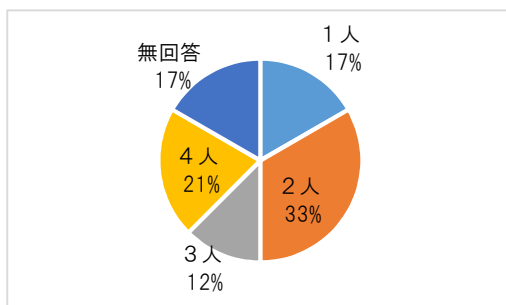
性別では、「男性」が50%、「女性」が42%、「無回答」が8%となっている。

イ 年代



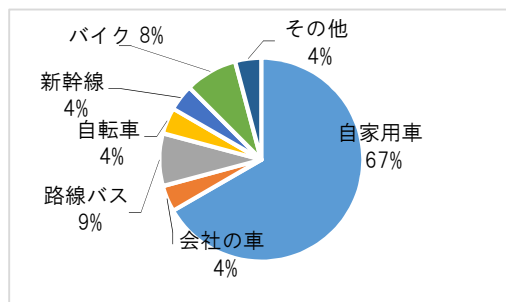
年齢別では、「70歳以上」が21%と最も多く、次いで「30歳代」、「60歳代」の17%、「50歳代」が13%となっている。また、男女別では男性が「30歳代」、女性が「60歳代」が多い。

ウ 来訪人数



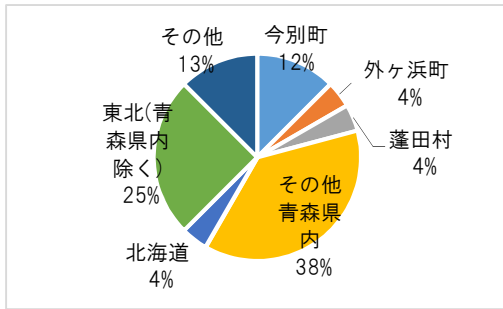
来訪人数は、「2人」が33%と最も多く、次いで「4人」が21%、「1人」が17%となっている。「無回答」が17%であった。

Q9 道の駅いまべつにはどの交通手段で来られましたか。



交通手段は、「自家用車」が67%と最も多く、次いで「路線バス」が9%、「バイク」が8%となっている。「新幹線」は4%であった。

Q10 お住まいの地域はどこですか。

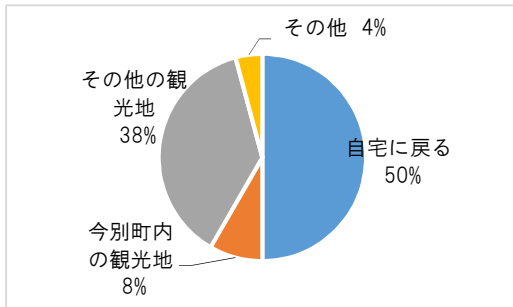


住まいの地域は、「その他青森県内」が38%と最も多く、次いで「東北(青森県内除く)」が25%、「その他」が13%、「今別町」が12%となっている。

住まいの地域

- ・「その他青森県内」 青森市、八戸市、弘前市、五所川原市、三沢市
- ・「東北(青森県内除く)」 秋田県仙北市、宮城県、岩手県、福島県
- ・「その他」 福岡県福岡市、東京都、愛媛県

Q11 次の目的地はどちらですか。



次の目的地は、「自宅に戻る」が50%と最も多く、次いで「その他の観光地」が38%、「今別町内の観光地」が8%となっている。

目的地

- ・「その他の観光地」 北海道周遊、竜飛崎、平館、五所川原市
- ・「今別町内の観光地」 高野崎、袈月・平館
- ・「その他」 山形県

Q12 道の駅いまべつに関してご意見等

- ・食堂の開店があと30分早いといいなと思います。(新幹線できた場合、三厩方向からバスで来た場合に1時間以上待つというのは若干しんどい。)
- ・自転車部の活動で青森駅付近を出発してここまで来ましたが熱中症ぼくなってしまい休ませていただきました。
- ・もずくうどんやがっばもちなど、他にはないおいしい食べ物、新幹線はやぶさが見られるのがいいです。
- ・座って、道の駅で売る物を食べるスペースがあればいいです。
- ・休憩所がもう少し広いといいのでは。座って休めない。
- ・津軽方面の観光情報がわかるものがあればいい。
- ・子供の遊具がほしい。
- ・バイクの駐車帯が分かりづらい。
- ・たまに友達と食事する場所です。欲を言えば軽食喫茶の充実を望みます。
- ・帰省の時はお土産を買っていますが宅配があればいい。

第4章 再整備の基本的方向性

4-1 現状と課題の整理

機能		基本構想（抜粋）・アンケートから
① 休憩機能	○駐車場	<ul style="list-style-type: none"> ・道の駅下の駐車場が狭隘 ・自転車、オートバイ専用の駐車帯がない ・駐車入口が狭い ・EV 車充電設備が屋外に整備されていない (アンケートから) ・階段の段差、スロープの改良 ・空車の表示とか分かりづらい ・駐車スペースの明確化
	○トイレ	<ul style="list-style-type: none"> ・異臭問題で様々な対応策を講じてきた ・子ども用トイレの設備が必要 (アンケートから) ・場所がわかりづらい ・トイレ内が暗いイメージがある
	○ベビーコーナー	<ul style="list-style-type: none"> ・衛生面に配慮が必要
	○休憩施設	<ul style="list-style-type: none"> ・道の駅内の休憩スペースが不足している ・道の駅外の休憩設備が不足（ベンチ・東屋） (アンケートから) ・座って休めない
② 情報発信機能	○観光案内施設	<ul style="list-style-type: none"> ・当町の観光情報を含め、津軽半島エリアの観光情報が不足 ・町内滞在、周遊促進の強化 ・インバウンドに対する情報提供不足 (アンケートから) ・情報発信力が不足している ・歓迎ムードが不足している ・他地域とのコラボレーションが必要
	○道路情報等の提供	<ul style="list-style-type: none"> ・在日外国人旅行者などに対する情報提供
③ 地域連携機能	○レストラン	<ul style="list-style-type: none"> ・食のPR を継続していくため、レストランエリアの拡充は必要 ・厨房への入り口が物産販売コーナーになっている ・ハエ等の害虫対策が必要 ・段差等があり、バリアフリー対策が必要 ・子育て世代の受入工夫 (アンケートから) ・喫茶、軽食メニューが不足 ・メニューが限定される日がある ・営業時間の改善 ・町特産品を活かしたメニューを増やしてほしい
	○産直・物産販売	<ul style="list-style-type: none"> ・販売エリアが狭い ・産直配置が周りにマッチしない ・水産物等の鮮度設備が必要 (アンケートから) ・宅配の手続きができない
	○コミュニティ・交流施設	<ul style="list-style-type: none"> ・交流施設がなく、農村公園がくつろげるエリアとなっているが老朽化で遊具が撤去され、ベンチなどの休憩設備が不足 ・子育て支援施設が整備されていない ・いまべつ総合体育館への誘導、施設内PR 不足 (アンケートから) ・遊具が整備されていない ・お花エリアがない
④ 防災機能	○防災設備	<ul style="list-style-type: none"> ・避難誘導標識がない ・道の駅が町避難所となっているが収容者が多く見込めない ・道の駅内に避難物資が備蓄されていない ・施設外に避難設備がない
⑤ その他	○道の駅施設	<ul style="list-style-type: none"> ・二股荒馬を含め、3 保存会で「今別の荒馬」として青森県無形民俗文化財に指定されているため、現状にマッチしない ・平成 26 年度増築改修したが、外壁等の劣化が目立つ (アンケートから) ・道の駅の周りや県道沿いは草木が生い茂り、景観が悪い
	○再生可能エネルギー	<ul style="list-style-type: none"> ・道の駅に非常用電源装置を整備するが他施設をカバーできない
	○雇用者の維持	<ul style="list-style-type: none"> ・地元からの雇用を優先しているが若者の雇用が課題となっている
	○地域間交流	<ul style="list-style-type: none"> ・交流事業の継続
	○地域公共交通	<ul style="list-style-type: none"> (アンケートから) ・バス停留所の充実

4-2 再整備の基本方針（基本構想より抜粋）

機能		整備方針
① 休憩機能	○駐車場	<ul style="list-style-type: none"> ・「小型・大型車」、「オートバイ」、「自転車」など、あらゆる交通手段の方が利用可能な駐車場・駐輪場の整備 ・道の駅(トイレ等)に近い場所に設置し、障害者、妊婦等が安心・安全に移動でき、かつ雨天時や冬期間にも利用できるよう、屋根付専用駐車帯を整備 ・電気自動車用充電設備(EV車急速充電設備)を設置
	○トイレ	<ul style="list-style-type: none"> ・現道の駅トイレの改修を行わず、専門業者と異臭除去対策を講ずる ・利用者が24時間安心して快適に利用できるよう駐車場に隣接した場所に新しく整備するほか、障害者や高齢者、車椅子利用者を踏まえた多機能トイレや子どもへ配慮した子ども専用トイレを設置する
	○ベビーコーナー	<ul style="list-style-type: none"> ・駐車場に隣接したバリアフリー対策を講じたトイレ施設の同じ建物内に利便性を高めるため、24時間利用可能なベビーコーナーを整備する ・紙おむつ、おしりふき等の販売機の設置を検討する
	○休憩施設	<ul style="list-style-type: none"> ・無料休憩エリアを拡充(椅子や円卓の設置) ・農村公園の一部と多目的広場を休憩エリアの機能を持たせる
② 情報発信機能	○観光案内施設	<ul style="list-style-type: none"> ・物産販売エリアを観光情報エリアに拡充 ・当町を含め、観光パンフレット等の置き場を集約し、津軽半島エリアの広域観光の推進 ・在日外国人旅行者などへの情報提供を強化
	○道路情報等の提供	<ul style="list-style-type: none"> ・道路情報、医療機関情報など来訪者が求める情報の提供の整備(デジタルサイネージの設置を検討する) ・在日外国人旅行者などへの情報提供を強化
③ 地域連携機能	○レストラン	<ul style="list-style-type: none"> ・飲食者が気持ちよく飲食できるようバリアフリー対策を講じたエリアを整備 ・さわやかな風を感じる解放的な空間のエリアを整備 ・害虫対策(エアーカーテン) ・無料休憩所で軽飲食を可能とする ・町特産品のメニューのPRを継続し、利用促進と安心・安全な食メニューの新開発を図る ・焼肉(BBQ)エリアや手ぶらで訪れる方への対応方法を構築
	○産直・物産販売	<ul style="list-style-type: none"> ・産直・物産販売コーナーを分離し、利用者が買い求めやすい環境づくりを図る ・地元農産物、魚介類等の保存方法及び展示・販売の充実を図り、地産地消を推進する ・「道の駅出荷協議会」加盟者の増加を図る ・地域住民等の買い物環境の充実を図るため、日用品の展示、販売を検討する
	○コミュニティ・交流施設	<ul style="list-style-type: none"> ・長時間滞在のため、農村公園や多目的広場隣の土地をコミュニティ・交流の場として整備 ・子どもから大人までの多世代の方がくつろげる場づくり、親子が室内で遊べる場づくりなど子育て支援の場の整備 ・地域資源PRのための展示スペースを整備 ・愛犬と一緒に立ち寄れるための「ドッグラン」の設置を検討
④ 防災機能	○防災設備	<ul style="list-style-type: none"> ・一体的な防災整備を進めるため、道の駅から体育館までの間に連絡道路を整備(車道、歩道併用道路) ・避難物資 除雪ステーション内の備蓄倉庫の物資及び総合体育館の避難物資を使用する体制を構築 ・施設外に避難設備を整備 ・体育館敷地内に非常用電源装置や貯水槽の設置を検討 ・道の駅24時間利用可能なトイレ付近に災害等自動販売機の設置を検討
⑤ その他	○道の駅施設	<ul style="list-style-type: none"> ・正面入口の看板絵を含め、外壁の劣化状況を確認し、周りの景観に配慮した外観づくりを図る
	○再生可能エネルギー	<ul style="list-style-type: none"> ・太陽光、バイオマス等の再生可能エネルギーの供給が可能なのか、コスト面を含め検討する
	○雇用者の維持	<ul style="list-style-type: none"> ・若者の地元定着を図るため、指定管理者と連携しながら魅力ある職場づくりを進める ・移住・定住の職場の一貫的な役割を目指す
	○地域間交流	<ul style="list-style-type: none"> ・交流を継続し、「道の駅いまべつ」、「奥津軽いまべつ駅」、「いまべつ総合体育館」や今後整備を進める「緑地公園」等を利用して、滞在時間の延長を図る

4-3 国土強靱化地域計画への位置付け（計画策定：令和2年12月）

計画名	青森圏域5市町村国土強靱化地域計画（令和2年度から6年度）
事業計画名等	今別蟹田線道の駅「いまべつ」
事業概要	防災拠点である「道の駅いまべつ」の防災機能向上に係る整備
施策	<ul style="list-style-type: none"> ・警戒避難体制の整備（津波等・水害・土砂災害） ・住民等への情報伝達の強化 ・支援物資等の供給体制の確保 ・緊急車両・災害拠点病院に対する燃料の確保 ・帰宅困難者の避難体制の確保 ・避難者等への支援 ・エネルギー供給体制の強化
事業計画名等	馬流1号線ほか1路線
事業概要	道の駅及び新幹線利用に伴う駐車場、並びに大規模災害発生時の救護活動拠点整備
施策	<ul style="list-style-type: none"> ・関係機関の連携強化・防災訓練の推進 ・支援物資等の供給体制の確保

4-4 導入施設整備方針

基本構想に基づき、町民・道の駅来場者アンケートの意向も鑑み、次のとおり方針とします。

1) 休憩機能

① 駐車場

- ・道の駅専用駐車場としての機能を持たせるため、小型・大型車専用の駐車帯の拡充、バイク専用駐車帯の整備と駐車場入口の改良整備を行います。
- ・身障者、妊婦等の車両スペースは、道の駅、トイレ近くに配置し、屋根付駐車場として整備するほか、バリアフリー対策を講じます。
- ・高齢者等が利用しやすいように広めの駐車スペースを検討します。
- ・EV車高速充電設備を整備します。
- ・駐車場を多言語表記し、わかりやすい案内表示板等を設置します。



イメージ 道の駅いちかわ（HP）千葉県

左：屋根付身障者専用駐車場 右：自動二輪置場



イメージ 道の駅ふたついで（HP）秋田県

EV 高速充電設備

② トイレ

- ・現道の駅のトイレは総合案内情報、レストラン専用とし24時間利用を取止めします。また、トイレ内が暗い印象があることから明るさの改善に努めます。
- ・道路利用者が24時間安心して快適に利用できるよう、十分な明るさの確保や換気対策など駐車場に隣接した場所に多機能トイレ、子ども用トイレを備えた新しいトイレを整備します。
- ・多言語表記やピクトグラムでの案内表示するほか、プライバシーに配慮します。



イメージ 道の駅ニツ井（HP）秋田県

24時間対応トイレ



イメージ 道の駅角館（HP）秋田県

子ども用トイレ

③ベビーコーナー

- ・新しく整備するトイレ内に授乳室、おむつ交換台、シンク、調乳専用機を備えた24時間利用可能なベビーコーナーを設置し、プライバシーに配慮します。
- ・多言語表記やピクトグラムでの案内を充実します。(現道の駅も同様)



イメージ 道の駅ニツ井 (HP) 秋田県
授乳室・おむつ交換台



イメージ 道の駅角館 (HP) 秋田県
子ども用トイレ・授乳室・おむつ交換 表示

④休憩施設

- ・現在の物産販売エリアを気軽に休憩でき、各情報を確認できるような広いエリアに椅子、テーブルを配置します。
- ・道の駅外部の農村公園の一部と多目的広場隣に遊具を整備するなど休憩エリアとして整備します。



イメージ 道の駅ニツ井 (HP)
秋田県 休憩情報コーナー



イメージ 南相馬鹿島サービスエリア
利活用拠点 (HP) 福島県 駐車場近くのベンチ

2) 情報発信機能

①観光案内施設

- ・津軽半島地域の観光情報機能の充実を図るため、観光情報マップや他自治体の観光パンフレットを取り添えた棚やチラシやポスターを貼る掲示板を設置します。
- ・観光情報を提供するため、大型ディスプレイ (デジタルサイネージ等) の設置を検討します。
- ・総合観光窓口を開設し、観光案内やサービス案内を行う「観光案内コンシェルジュ」の配置や翻訳機器等の導入を検討します。
- ・在日外国人旅行者の情報提供のため、多言語化パンフレット等を設置するほか、表記を充実します。



イメージ 道の駅木古内 (HP) 北海道
左: 総合案内所 右: 観光パンフレット



イメージ 道の駅ななもり清見
(HP) 岐阜県 観光情報コーナー

②道路情報等の提供

- ・専用掲示板を設置し、道路情報、災害情報、医療機関情報等を提供します。
- ・デジタルサイネージを活用して、道路、JR、町営バス等の運行状況を掲示するIT機器の設置を検討します。
- ・主要道路や観光施設、医療施設等を表示したマップを整備します。
- ・案内については、多言語表記を整備します。
- ・道路情報を始め、「気象・災害情報」など、さまざまなお役立ち情報にアクセス可能な無料公衆無線LAN環境(Wi-Fi)の整備環境を進めます。



イメージ 道の駅十文字 (HP)
秋田県 映像で道路情報を提供



イメージ 道の駅めざみの里 (HP)
山形県 タッチパネルで全国の交通
情報を提供



イメージ 道の駅木古内
(HP) 北海道 施設内に表示
情報を提供

3) 地域連携機能

①レストラン

- ・段差を解消し、解放的な空間で食事していただくため、テラスを増築するほか、子ども連れ家族が利用しやすいレストランエリアを整備します。
- ・エアカーテンを設置するなど、害虫対策を講じます。
- ・食事以外のお客さん対応として、軽食・喫茶の充実を図ります。
- ・無料休憩所でも飲食できるよう環境衛生面対策を講じます。
- ・地元の「いまべつ牛」、「いのしし」、「サーモン」を使った新しいメニューや季節ごとのメニューを開発し、多くの集客やリピーターの確保に努めます。
- ・野外に手ぶらでも利用できる「いまべつ牛」焼肉(BBQ)エリアやコンロ等の整備を検討します。



イメージ 道の駅桜島 (HP)
鹿児島県 窓側に子ども連れ等が利
用できる座敷コーナーを設けている



イメージ 道の駅ニツ井 (HP)
秋田県 軽食コーナー



イメージ 道の駅虹の湖 (HP)
青森県 屋外にBBQ コーナーを設
置(予約制)

②産直・物産販売

- ・情報コーナー、無料休憩エリアを充実するため産直・物産販売コーナーを分離し、新たに「物産館」を整備します。
- ・展示販売毎にPR看板を設置するほか、陳列棚の高さや配置等を工夫し、「見やすく、選びやすく、買いやすい」エリアを整備します。
- ・新鮮な産物を提供販売するため、保存設備を配備します。
- ・地元産物の展示販売を充実するため、「道の駅出荷協議会」の組織強化を図るほか、高齢化対策や品揃の充実のため集荷方法を検討します。
- ・配送サービスや商品の宅配サービスを検討します。
- ・道の駅の定期的なイベントの開催や加工品の実演販売等、生産者と消費者の交流の場を検討します。
- ・日用品の展示販売を検討します。
- ・町ホームページやSNSを通して、情報発信を行います。



イメージ 道の駅角田 (HP)
宮城県 新鮮な食材を取り揃えている



イメージ 道の駅なかせん (HP)
秋田県 杜仲豚串焼きの実演販売
(土日の開催が多い)



イメージ 道の駅しもつけ (HP) 栃木県
宅配サービス 四季毎
にカタログ作成



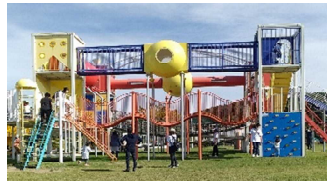
イメージ 道の駅とみうら 枇杷倶楽部 (HP) 千葉県
日用品の展示販売

③コミュニティ・交流施設

- ・子どもが遊ぶ空間、子どもから大人まで休憩できる空間、町内の文化資源等を展示できる多目的空間や24時間利用可能な子育て支援施設（おむつ交換スペース）、子ども、大人、多目的トイレを備えた「交流館」を整備します。
- ・子ども向けの遊具や子どもから大人まで休憩できるベンチや東屋等を備えた公園（緑地公園・キッズ公園）を整備します。
- ・イベント広場をボール遊びや野外スポーツ等でいつでも利用できる野外広場とします。
- ・「愛犬」と一緒に立ち寄れるための「ドッグラン」の設置を検討します。



イメージ 道の駅までい館 (HP)
福島県 木のすべり台、つききなど



イメージ 新青森陸上競技場
遊具広場 青森県 複合遊具
健康遊具など



イメージ 道の駅までい館(HP)
福島県 ドッグラン
左上：道の駅、公園

4) 防災機能

①防災機能

- ・一体的な防災整備を進めるため、車道、歩道併用の連絡道路を整備するほか、避難場所の動線案内表示板を設置します。
- ・公園は災害時でも避難場所としての機能を持たせるほか、イベントや避難訓練時でも併用できるかまどベンチ等の設備を検討します。
- ・避難物資を備蓄する「いまべつ総合体育館」、令和3年度に整備する避難物資備蓄倉庫を併設した「除雪ステーション」と併せて、災害時に救護ヘリが利用できる場所を確保します。



イメージ 道の駅織姫の里なかのと (HP) 石川県
左側：かまどベンチ 平常時ベンチ利用 災害時等かまど利用
中央側：かまどスツール 平常時スツール利用 災害時等かまど利用

JIS Z9098 データ集「災害種別
避難誘導標識システム」
出典：内閣府

5) その他

①道の駅施設

- ・正面入口をインパクトが強い印象を与えるため、看板絵を新しくします。
- ・周辺の案内表示板は景観に考慮します。
- ・施設内の明るさを保つ電気設備を検討します。

②再生可能エネルギー

- ・避難場所として、安心・安全な環境づくりを整備するため、太陽光等の再生可能エネルギー供給のため、「分散型エネルギーインフラプロジェクト（マスタープラン）」で検討します。



左側：イメージ 道の駅七戸 青森県 垂直設置型ソーラーパネル
青森県再生可能エネルギー産業振興ポータルサイト(HP)
右側：イメージ 道の駅まつだいふるさと会館 屋根にソーラーパネル
新潟県十日町市(HP)

③雇用の維持

- ・指定管理者制度を今後も継続し、魅力ある職場・働きやすい環境整備を指定管理者と連携し地元雇用に最優先します。
- ・移住定住対策のため、職場体験の誘致やお試し住宅利用者等の職場体験施設として協力します。

④地域間交流

- ・「奥津軽いまべつ駅」内で行う各種イベントや「いまべつ総合体育館」で行うスポーツイベント等を通じて、「道の駅いまべつ」エリアのPRを継続し、利用促進を図ります。
- ・道南自治体の物産販売を通じた交流を検討します。
- ・近隣道の駅と相互連携を行います。



イメージ 道の駅ならば
(HP)福島県
物産館で姉妹都市岩崎市の
物産を販売



イメージ 道の駅しょうなん
(千葉県)で姉妹都市福島県只
見町の物産を販売 只見町観
光まちづくり協会(HP)

⑤地域公共交通

- ・新しく整備する「交流棟」、「いまべつ総合体育館」付近にバス停留所を整備します。



イメージ 道の駅角田(HP)
宮城県



イメージ 道の駅木古内
(HP)北海道

第5章 整備・管理計画

5-1 事業主体の検討

これまで、公共施設整備については、「公営公設方式」で整備してきましたが厳しい財政状況を鑑み、国の交付金、社会資本整備総合交付金等の活用や民間活力導入方式を含め検討します。

事業手法には、「公営公設方式」と民間資金等を活用した「民間資金等の活用による公共施設等の整備等の促進に関する法律（PFI法）」による「PFI方式」、PFI法に基づかない「DBO方式」、「リース方式」等があります。

○整備手法一覧

B (Build: 建設) T (Transfer: 移転) O (Operate: 運営等) O (Own: 所有)
R (Rehabilitate: 改修) D (Design: 設計)

事業手法		公営公設方式	リース方式	DBO	
概要		町が資金調達し、施設の建設と運転業務及び維持管理業務を行う方式	民間事業者が資金調達を行い、設計・建設・維持管理業務を一体的に行い、町が一定期間リースする方式	民間事業者に公共施設等の設計・建設の一括発注と、維持管理・運営等の一括発注を包括して発注する方式	
業務範囲	資金調達	公共	民間	公共	
	設計	公共	民間	民間	
	建設	公共	民間	民間	
	維持管理	公共	民間	民間	
	運営	公共	公共	民間	
施設所有		公共	公共・民間	公共	
財政効果等		・初期段階の財政負担が大きい。 ・国助成金等、起債の活用。	・予算の平準化ができる。 ・設計から運営、性能発注により民間のノウハウの活用が効果的に図られ、コスト削減が期待できる。	・初期段階の財政負担が大きい。 ・国の補助金等の活用可。 ・設計から運営、性能発注により民間のノウハウの活用が効果的に図られ、コスト削減が期待できる。	
事業手法		PFI方式			
		BTO	BOT	BOO	BT
概要		民間事業者が公共施設等を設計・建設し、施設完成直後に公共側に施設の所有権を移転し、民間事業者が維持管理・運営を行う方式	民間業者が公共施設等設計・建設し、維持管理・運営等を行い、事業終了後に公共側に施設の所有権を移転する方式	民間事業者が公共施設等を設計・建設し、維持管理・運営を行い、事業終了時点で施設等を解体・撤去するなど公共側への施設の所有権移転がない方式	民間事業者が公共施設等を設計・建設し、公共側に所有権を移転する方式
業務範囲	資金調達	民間	民間	民間	民間
	設計	民間	民間	民間	民間
	建設	民間	民間	民間	民間
	維持管理	民間	民間	民間	公共
	運営	民間	民間	民間	公共
施設所有		公共	民間	民間	公共
財政効果等		・初期段階の財政負担が軽減される。 ・国の補助金等の活用可能。 ・民間金利が割高になる ・設計から運営、性能発注により民間のノウハウの活用が効果的に図られ、コスト削減が期待できる。			

△ 「PPP/PFI 手法導入優先的検討規定運用の手引き」
(内閣府：民間資金等活用事業推進室 平成 29 年 1 月 参考)

5-2 道の駅整備に活用できる補助制度

道の駅整備に活用できる主な補助制度は次のとおりです。

道の駅整備に活用可能な主な補助事業等（資料：国土交通省）

省庁	支援メニュー
国土交通省	○社会資本整備総合交付金 道路管理者が行うべき事業として、駐車場やトイレ、休憩施設等を整備し、また支援する。 補助率：5.5/10
観光庁	○訪日外国人旅行者受入環境整備緊急事業（地方での消費拡大に向けたインバウンド対応支援事業） 観光拠点情報・交流施設の整備・改良等への支援、公衆トイレの洋式便器の整備及び機能向上を支援する。 補助率：1/3
内閣府	○地方創生推進交付金（まち・ひと・しごと創生交付金） 第2期まち・ひと・しごと総合戦略に基づく、地方創生のより一層の充実・強化に向けた取組を支援。 補助率：1/2（1/2の地方負担については地方財政措置を講じる）
内閣府・厚生労働省	○地域子育て支援拠点事業 乳幼児及びその保護者が相互に行う場所を開設し、子育てについての相談、情報の提供、助言を行う事業を支援する。 補助率：国1/3、県1/3
総務省	○公衆無線LAN環境整備支援事業 防災の観点から、防災拠点（避難所・避難場所、官公署）として想定され災害対応の強化が望まれる公的拠点における公衆無線LAN（Wi-Fi）環境の整備に対し、その費用の一部を補助する。補助率 補助対象経費の総額の1/2（財政力指数が0.4以下かつ条件不利地域は2/3）
経済産業省	○電気自動車・プラグインハイブリッド自動車の充電インフラ整備事業費補助金 「道の駅」への充電設備設置事業を支援する。補助率 機器購入費：定額、設備工事費：定額
環境省	○二酸化炭素排出抑制対策事業等補助金（地域の防災・減災と低炭素化を同時実現する自立・分散型エネルギー設備等導入推進事業） 道の駅に防災・減災に資する再生可能エネルギー設備並びにそれらの附帯設備（蓄電池、自営線等）等を導入する事業を支援する。補助率：財政力指数が0.8未満の町村等3/4
農林水産省	○農山漁村活性化整備対策（農山漁村振興交付金） 農山漁村活性化法に基づき、県又は市町村が策定した農山漁村における定住・交流の促進、農業者の所得向上や雇用の拡大を図るための活性化計画の実現に向けて、農産物加工・販売施設、地域間交流拠点等の整備を支援する。補助率：定額、1/2
財務省	○緊急防災・減災事業債（地方債） 道の駅等の公共施設における非常用電源、防災資機材等備蓄施設等の防災・減災対策のために必要な施設整備等 地方債充当率100%（元利償還金の70% 地方交付税措置）

5-3 管理運営の検討

現在、「道の駅いまべつ」は「公設民営方式」の「指定管理者制度」を活用しています。

1 指定管理者制度

○指定管理者制度の概要

施設の使用許可権限や利用料金收受、管理に関する権限を指定管理者に委託し、受託者が施設を包括的に管理運営する。

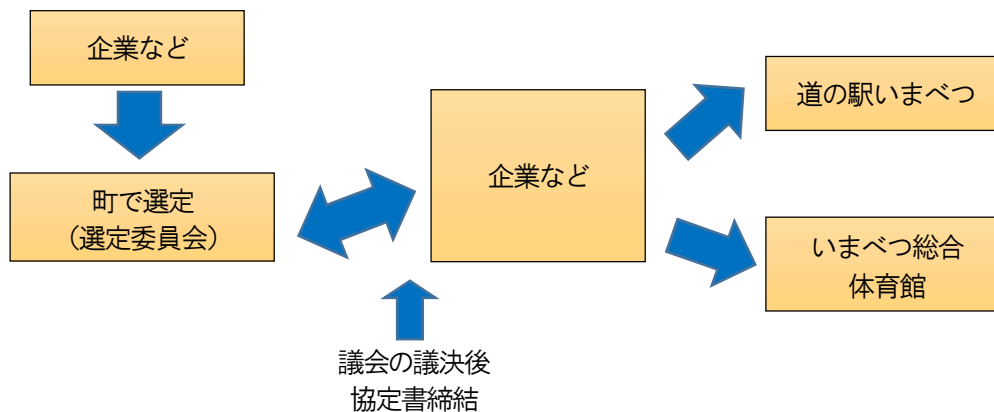
メリット

- ・民間のノウハウを活用でき、住民サービスの向上や経費の節減が期待できる。

デメリット

- ・要望等が町に伝わるのに時間がかかり、速やかに対応できない場合や経費削減の優先によるサービスの質の低下が生じたりすることがある。

「指定管理者決定までの流れ」



2 指定管理者制度を活用している施設

道の駅いまべつ	管理・運営
奥津軽いまべつ駅無料待合室 今別町屋内外駐車場	管理・運営
いまべつ総合体育館 (宿泊棟含)	管理・運営
多目的広場	管理・運営

3 今後の管理運営

導入施設の運営管理については、現在の道の駅いまべつを含む一体的な運営管理方法が望ましいと考えますが、町が直接運営する方法等を含めて検討します。

また、雇用の場の拡大になることから、配置人数等も併せて検討します。

4 他道の駅の運営主体状況

道の駅名	設置者	運営主体	整備形式	営業期間
十三湖高原	五所川原市	指定管理	地方一体型(県)	通年
たいらだて	外ヶ浜町	指定管理	地方一体型(県)	通年
みんなや	外ヶ浜町	指定管理	地方一体型(県)	冬季閉鎖
こどまり	中泊町	指定管理	地方一体型(県)	冬期閉鎖
なみおか	青森市	指定管理	直轄一体型	通年

第6章 施設配置計画

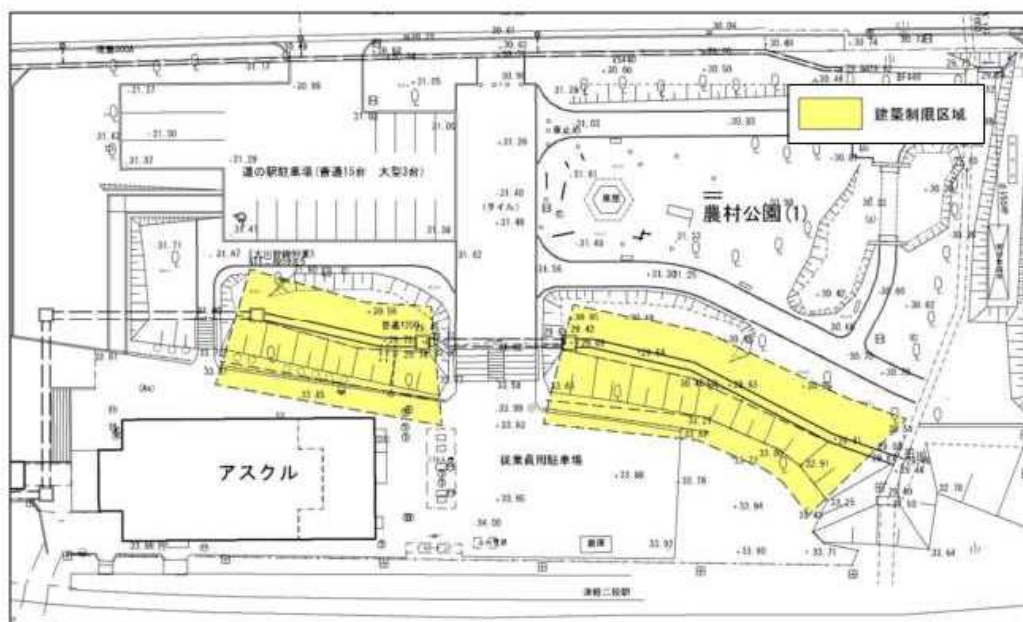
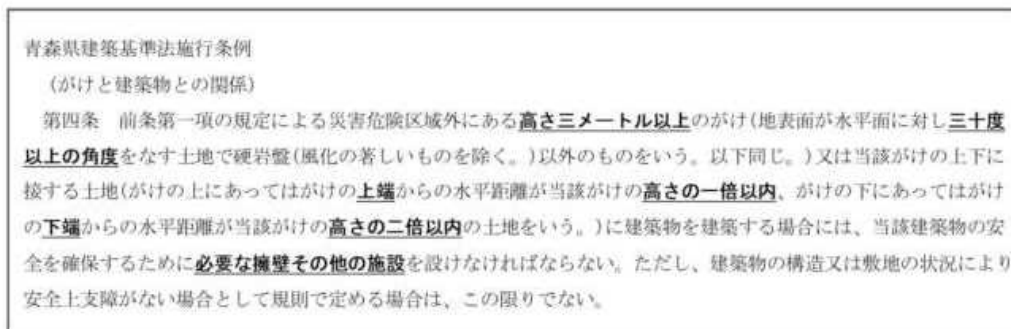
6-1 法的条件

1 都市計画法（開発行為の許可） 【許可等要否：不要】

当町は都市計画区域外であることから、開発面積1ha以上のものが開発許可の対象となる。
（交流棟建築敷地は約0.5ha）

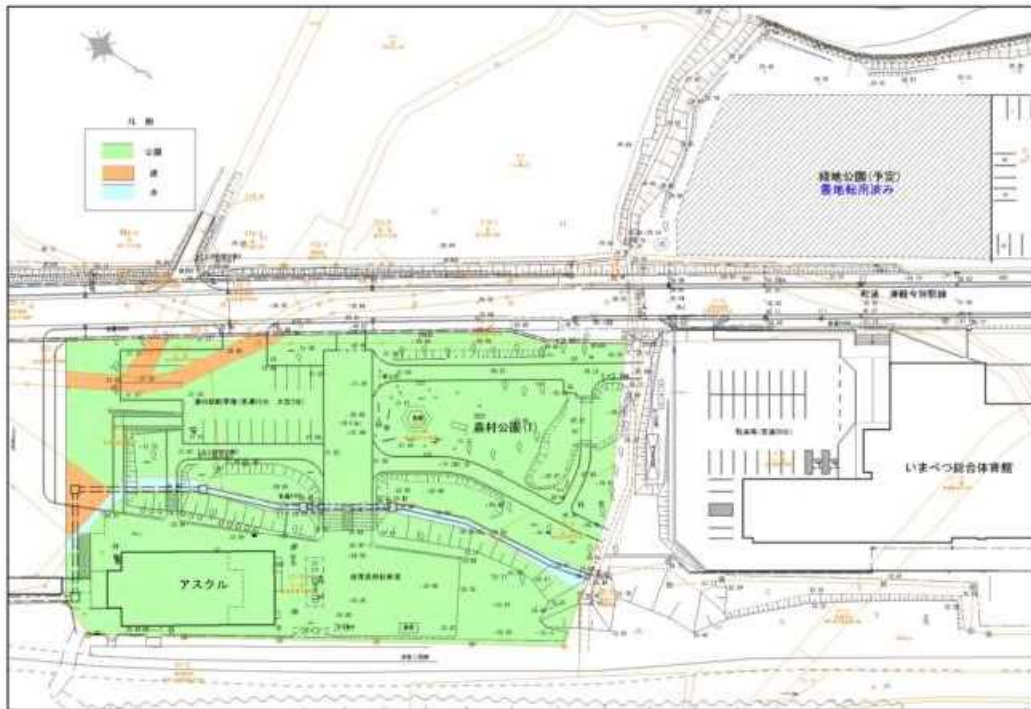
2 青森県建築基準法施行条例 【許可等要否：必要】

道の駅いまべつの建築敷地の西側は法面で勾配30°以上、高さ3m以上となっていることから法面の上下に接する土地の使用に必要な擁壁その他の施設を設けなければならないなどの制限が適用される。



3 農地法（農地転用） 【許可等要否：不要】

計画地は、公園用地であり農用地ではないことから、農地転用は不要であり、緑地公園予定地は農地転用済となっている。



現況平面図(地目別)

4 水防法（洪水浸水想定区域） 【許可等要否：不要】

本計画地は浸水想定区域外となっている。

5 土砂災害警戒区域等における土砂災害防止対策の推進に関する法律 【許可等要否：不要】

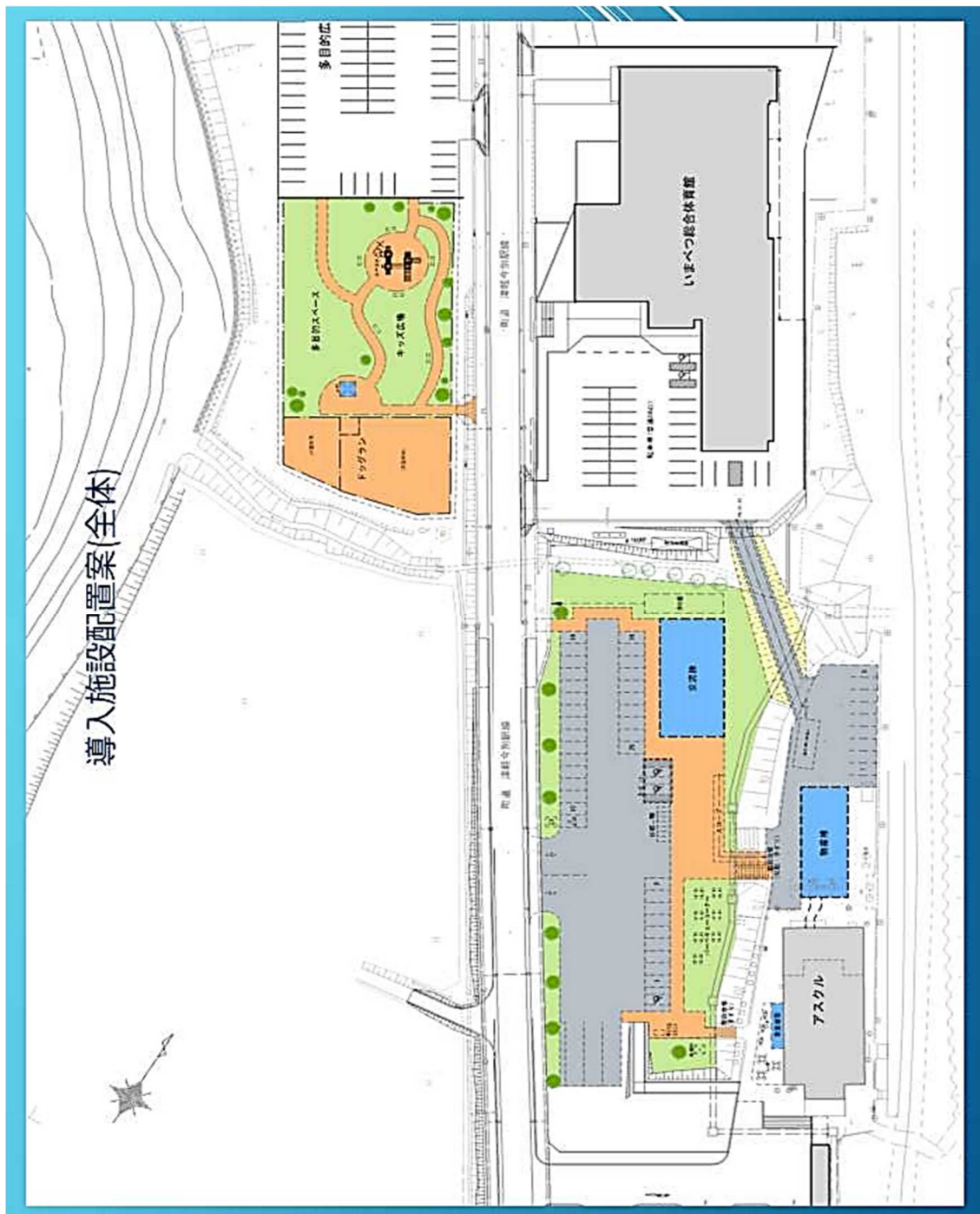
本計画地は、土砂災害警戒区域及び土砂災害特別警戒区域外となっている。

6 食品衛生法 【許可等要否：必要】

建物内に食堂を増築する場合には、食品衛生法施行規則第67条第1項(第2項)の規定による許可申請(変更)が必要となる。

6-2 全体施設配置(案)

- 既存駐車場を農村公園側に拡充します。普通車 37 台(うち障がい者用 3 台)、大型車 3 台、自動二輪 7 台を配置します。障がい者用駐車スペース(2 台分)は「思いやり駐車場」として屋根付とし、24 時間対応トイレを設置する交流棟側に配置します。また、大型車がスムーズに出入りできるよう、出入口を広げ、北側に移動させます。
- 物産棟はアスクルに隣接した東側の従業員駐車場に配置します。
- 交流棟はアスクル、物産棟、総合体育館の視景を考慮し、拡充した駐車場(農村公園側)に配置します。
- 駐車場東側の緑地をバーベキューコーナーとして活用します。
- 物産棟への歩行者動線(車いす等)を確保するため、スロープを新設します。
- 物産棟敷地と総合体育館敷地をつなぐ管理通路(幅員 3m)を新設します。



6-3-1 個別施設配置(案) 建物及び駐車場等

建物及び駐車場等

駐車場

現在の駐車台数は、普通車 15 台、大型車 3 台で、計画台数は大型連休等での繁忙期を想定し計画しました。

計画台数は、コロナ禍影響前の令和元年 8 月 11 日から 8 月 15 日までの入込数調査を基に算定しました。

○道の駅利用者数

調査年月日	道の駅利用者数
令和元年 8 月 11 日 (日)	645 人
8 月 12 日 (月)	611 人
8 月 13 日 (火)	690 人
8 月 14 日 (水)	685 人
8 月 15 日 (木)	642 人
平均	655 人

○設定条件

普通車

- ・日利用者数 655 人
- ・回転率 1/5 ※平均滞在時間 30 分とします。(トイレ休憩・買い物)
※造園ハンドブック「平均滞在時間一回転率相関表」参照
- ・駐車場利用率：80% 駅利用者 20%
- ・車 1 台当りの平均乗車人数：2.86 人/台 ※平成 27 年全国道路・街路交通情勢調査

$$\begin{aligned} \text{計画駐車台数} &= \text{日利用者数} \times \text{回転率} \times \text{駐車場利用率} \div \text{車 1 台当りの平均乗車人数} \\ &= 655 \text{ 人} \times 1/5 \times 80\% \div 2.86 \text{ 人/台} \\ &\div 37 \text{ 台} \end{aligned}$$

上記の算定により普通車駐車台数を 37 台で計画します。

大型車

- ・修学旅行等のバスを想定し、教育旅行入込実態調査をもとに計画しました。一校当たりの人数が最も多い小学校を対象とし、12,745 人 ÷ 99 人 ÷ 45 人 (1 台当り定員) ÷ 2.86 台 → **3 台**となります。

教育旅行入込実態調査結果

公益社団法人 青森県観光連盟 調べ

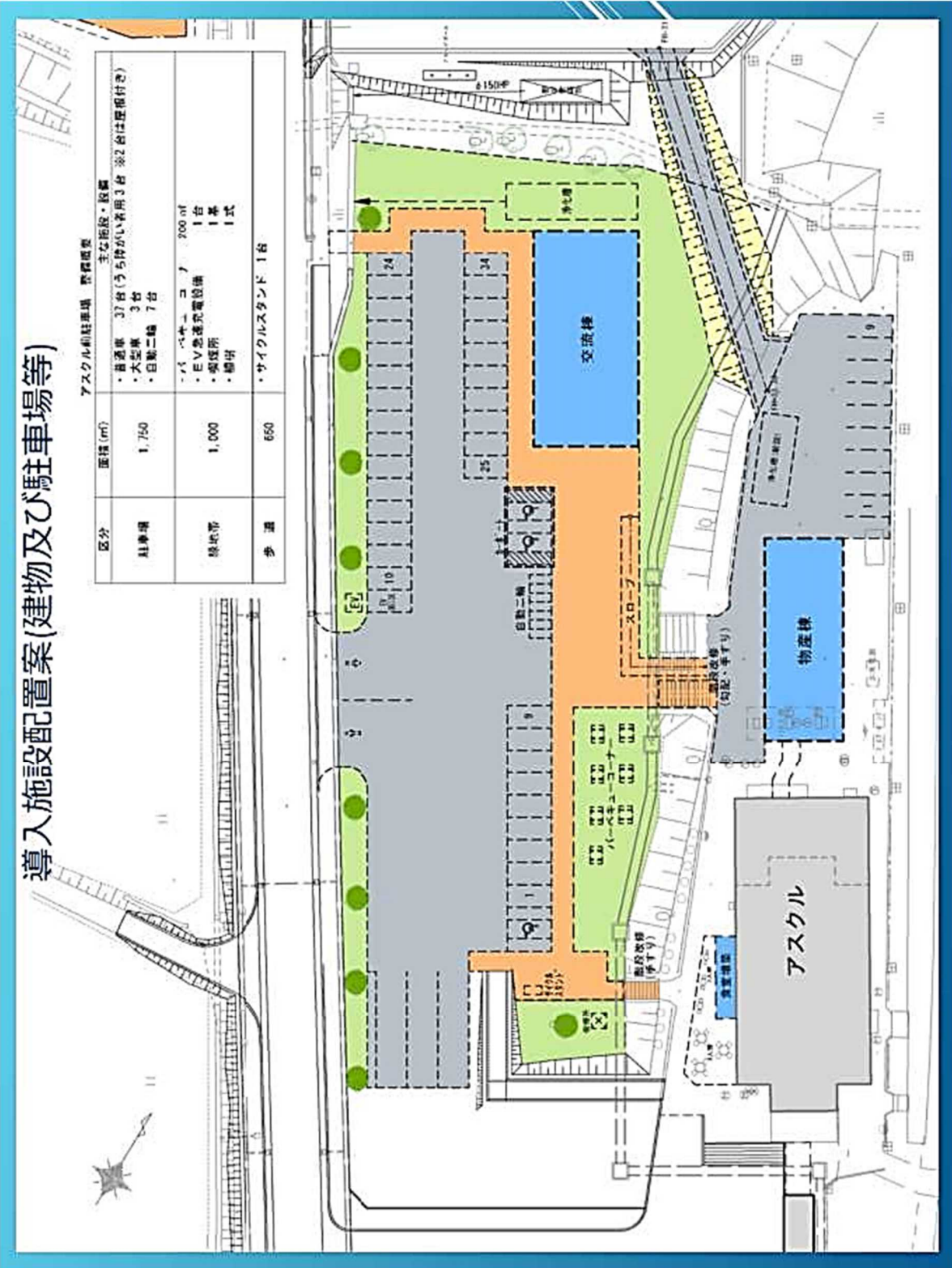
		合計	
		人数	校数
小学生	2019年	12,745	99
	割合	27.7%	12.0%

このうち、「思いやり駐車場」として必要な駐車台数を計画します。「道路の移動等円滑化整備ガイドライン P173」により、「障がい者用駐車施設の数、自動車駐車台数 200 台以下の場合にあっては当該駐車台数に 50 分の 1 を乗じて得た数以上とし…」としていることから

$$\text{駐車台数の合計を } 37 \text{ 台 (普通車)} + 27 \text{ 台 (大型車 3 台分を普通車換算)} = 64 \text{ 台}$$

$$64 \text{ 台} \times 1/50 = 1.28 \text{ 台} \rightarrow 2 \text{ 台}$$

交流棟は「子育て支援等の活動拠点」となり、子ども連れや妊婦等の利用が多く見込まれることから 1 台増やし、3 台で計画します。



6-3-2 個別施設配置(案) 緑地広場

緑地広場

- 子供の遊び場として大型遊具を配置したキッズ広場とボール遊び等ができる多目的スペースを計画しました。(多目的スペースは、冬場に雪でスロープをつくり子供たちの遊び場等として活用します。)
- また、南側には小型、大型犬を区分したドッグランスペースを計画します。他の公園利用者に危害を与えないよう、飼い主への注意喚起の看板を設置します。
- 四阿・ベンチは災害時には資機材の収納や炊き出し時の「かまど」として活用します。

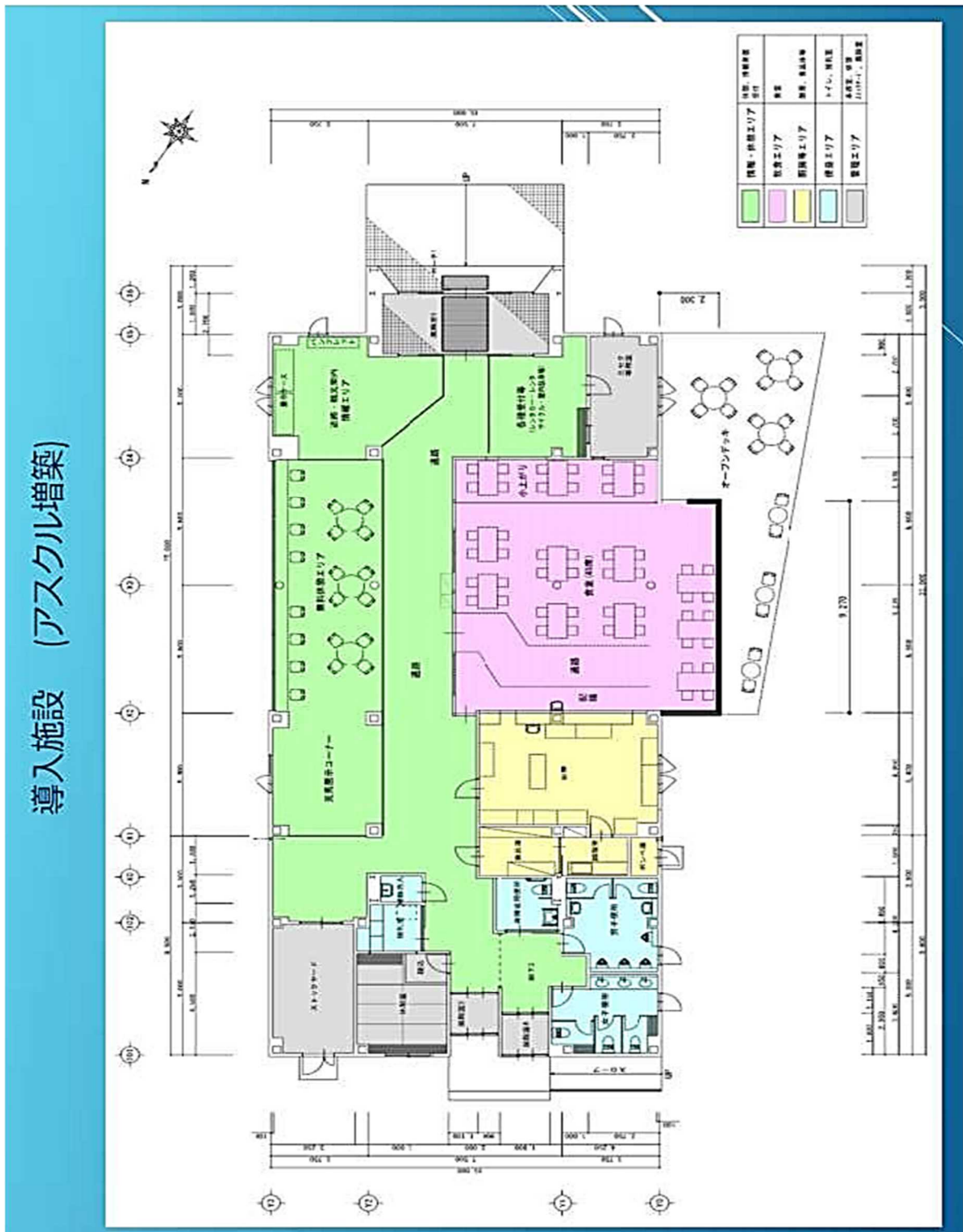


6-3-3 個別施設配置(案) 道の駅増築

道の駅増築

現在のレストランは、客席が9席(4人掛)で休日の昼時には待ち時間が発生するほか、20~30人程度の団体客の受入れも困難な状況となっていることから、概ねバス1台(45人)を受入れ可能とする座席数を計画しました。

また、現在の物販スペースは道路・観光案内情報等、無料休憩エリアとするほか、外壁・入口看板・照明器具の改修等を行います。

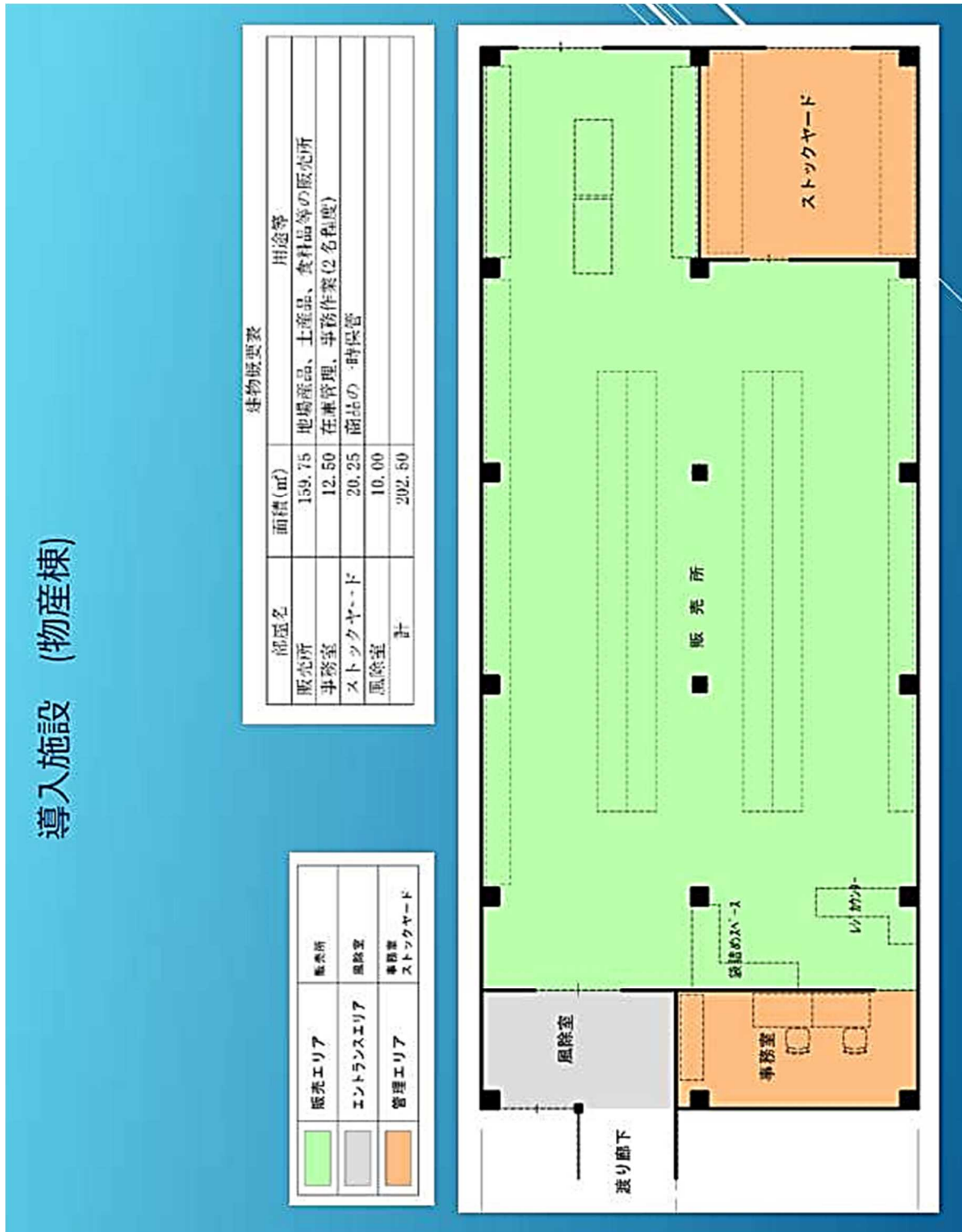


6-3-4 個別施設配置(案) 物産館

物産館

現在の物販面積は約 180 m²であり、物産棟についても同程度の面積を確保し、風除室、事務室を加え 202.5 m²としました。

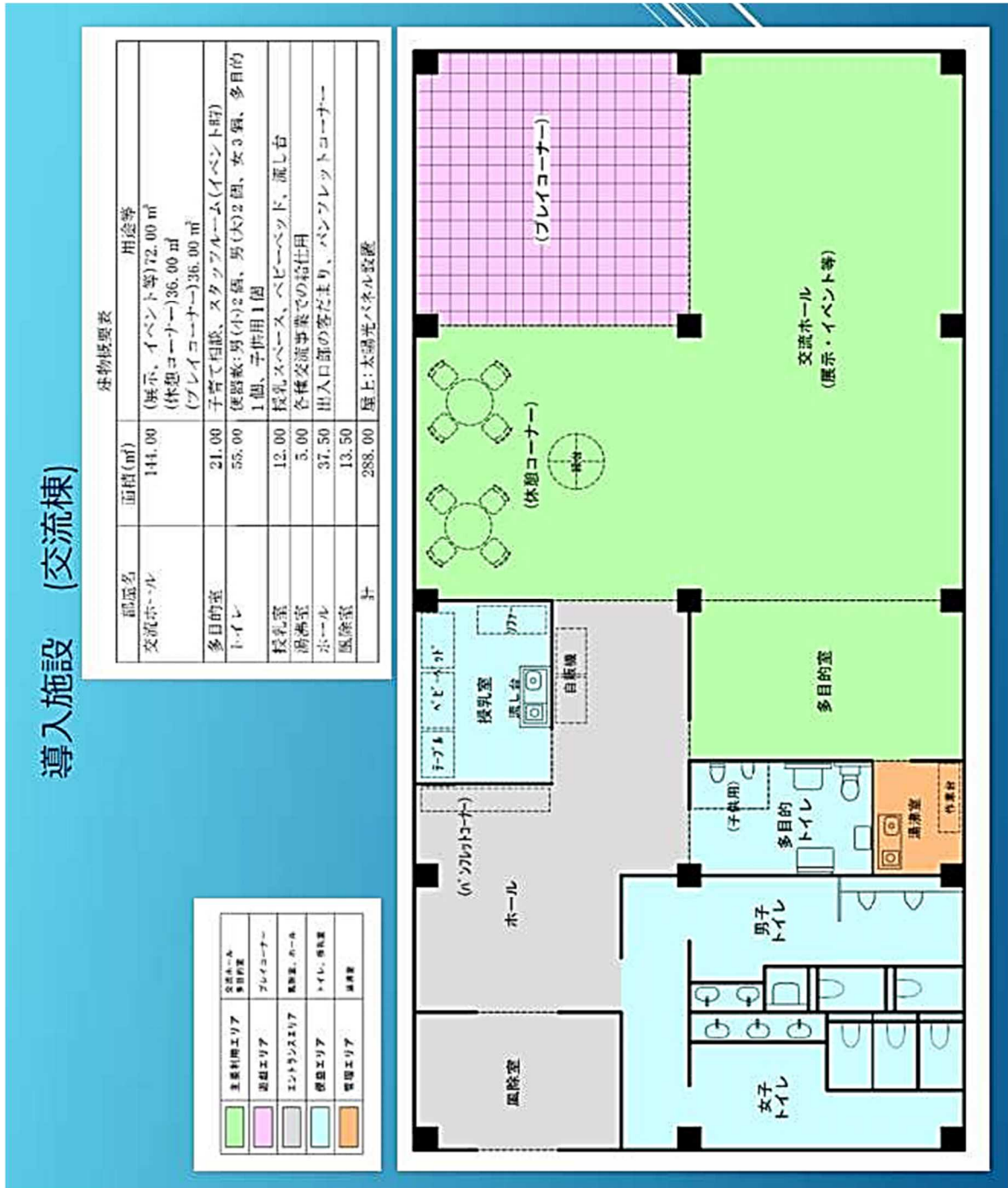
また、雨天・冬期の利便性を考慮し、アスクルとは渡り廊下で繋がります。



6-3-5 個別施設配置(案) 交流棟

交流棟

交流棟は交流拠点として整備します。子育て支援事業や地域の文化・観光に関する展示、イベントの開催を行います。また、24時間対応のトイレ、授乳室を併設します。



6-3-6 完成予想パース



6-4 概算事業費

概算事業費 810,260千円

厳しい財政状況を鑑み、「第5章 整備・管理計画 5-2道の駅整備に活用できる補助制度」の活用や民間活力導入方式を含め検討するほか、事業費の削減を図るなど事業内容の詳細を検討していきます。

○各施設等の概算事業費は次のとおりです。

施設名等	事業費 (千円)	備考
アスכול増築事業	63,272	鉄骨造平屋建 (想定) 基本設計 実施設計 施工監理 本工事費 レストラン増築 33㎡ 外壁改修、備品 (大型テレビ、デジタルサイネージ等)
物産館新築事業	162,140	鉄骨造平屋建 (想定) 198㎡ 基本設計 実施設計 施工監理 本工事費 備品 (什器等)
交流棟新築事業	285,593	鉄骨造平屋建 (想定) 288㎡ 基本設計 実施設計 施工監理 本工事費 浄化槽新設、太陽光発電 (パネル、蓄電池)、遊具、 展示ブース等
外構・駐車場整備事業	202,950	造成工、駐車場・通路、歩道、カーポート、誘導板 案内板、EV急速充電、テーブルベンチ、喫煙所外
緑地広場整備事業	87,373	歩道広場、ドッグラン、ベンチ (防災対応)、複合遊具、 水飲み場、東屋外
測量費	1,936	
地質調査費	6,996	
計	810,260	

6-5 想定年間利用者数等

1. 現在の関係指標

区 分	指標数	備 考
道の駅年間利用者数 令和2年度 令和元年度 平成30年度 平成29年度 平成28年度	92,016人 119,166人 119,456人 136,920人 183,446人	道の駅いまべつレジ打ち回数、券売機発行枚数
今別町観光入込客数 令和2年 令和元年 平成30年 平成29年 平成28年	107,419人 166,399人 170,580人 186,801人 246,242人	青森県観光入込客統計（県観光国際戦略局） （1月～12月）
行祭事・イベント(荒馬まつり) 令和2年 令和元年 平成30年 平成29年 平成28年	0人 8,000人 10,000人 13,000人 12,771人	青森県観光入込客統計（県観光国際戦略局） ※令和2年はコロナ禍で中止
県道14号交通量 平成22年度 平成27年度	2,215台/24h 3,808台/24h	全国道路・街路交通情報調査(5年に一度秋季) 調査地点 今別町大字大川平字深沢 13-18
奥津軽いまべつ駅乗降者数 令和2年度 令和元年度 平成30年度 平成29年度 平成28年度	14,000人 27,000人 31,000人 33,000人 39,000人	今別町独自調査

2. 想定年間利用者数

1) 県道14号交通量

平成27年度全国道路・街路交通情報調査結果に道の駅利用者増減率をもとに見込みました。

	昼間12時間			24時間		
	小型車	大型車	計	小型車	大型車	計
令和3年度	1,757台	424台	2,449台	2,157台	534台	2,759台
令和10年度	2,326台	561台	2,887台	2,855台	707台	3,562台

2) 道の駅利用者数

	利用者数(予測)	備 考
令和3年度	93,376人	令和3年度見込数をもとにコロナ禍の影響を踏まえ、毎年3.0%増。再整備施設完成後の令和10年度予測数を12.7万人、以後3.0%の増と予測（見込）。
令和10年度	124,000人	
令和11年度	127,000人	
令和12年度	131,000人	
令和13年度	135,000人	
令和14年度	139,000人	

3. 施設運営費用の見通し

現道の駅いまべつの過去3年間（平成30年度～令和2年度）の収支額、利用者見込数をもとに試算した各施設の収支見通しは次のとおりです。

1) 物産館

区 分	収支見通し	備 考
支 出	約37,840千円	維持管理・運営費 配置職員見込数3人（8時間勤務想定） 物産仕入収入額の75%
収 入	約36,000千円	過去3年間の売上額を利用者数で除した額に利用者伸び率3.0%+売上伸び率1.0%を乗じた額。 1人/290円×12.4万人
収支/年	約△1,840千円	

2) 交流棟

区 分	収支見通し	備 考
支 出	約8,441千円	維持管理・運営費 配置職員見込数2人（8時間勤務想定）
収 入	約100千円	多目的エリア使用料、自動販売機売上を想定
収支/年	約△8,341千円	

3) 緑地公園

区 分	収支見通し	備 考
支 出	約1,200千円	維持管理費 配置職員見込数1人（時間給 3時間想定）
収 入	0千円	
収支/年	約△1,200千円	

4) レストラン・軽食、情報提供棟

区 分	収支見通し	備 考
支 出	約52,324千円	維持管理・運営費 配置職員見込数9人（8時間勤務・6時間勤務想定）
収 入	約31,656千円	過去3年間のレストラン売上額を利用者数で除した額に利用者伸び率3.0%+売上伸び率1.0%を乗じた額。 1人/219円×12.4万人 2,715.6万円 軽食100万円 JR レンタカー150万円 体育館食事対応・自動販売機200万円
収支/年	約△20,668千円	

4施設の収支/年の合計額は約△32,049千円となります。

「第5章 整備・管理計画 5-3管理運営の検討」のとおり、サービスの質の向上・効率化が期待できる「指定管理者制度」の活用が望ましいと考えますが町が直接運営する方法等を含め、早い段階で運営方法を決定し、様々な意見を取り入れながら事業を進めていきます。

参考：道の駅指定管理料 令和2年度2,800万円 令和元年度2,620万円 平成30年度2,657万円

6-6 事業スケジュール (予定)

区 分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
基本計画	←→				
事業化詳細検討		←→			
重点道の駅企画提案書・応募		←→			
基本設計			←→		
実施設計・測量				←→	
本工事					←→ 3年計画で整備 (令和7~9年度)

第7章 策定の経緯

7-1 委員会開催の経過

期 日	委 員 会	内 容
令和3年4月28日	第1回道の駅再整備推進協議会	<ul style="list-style-type: none"> ・任命書の交付 ・道の駅いまべつ 半島プラザ アスクル再整備計画基本構想(素案)について
令和3年6月22日	第2回道の駅再整備推進協議会	<ul style="list-style-type: none"> ・道の駅いまべつ 半島プラザ アスクル再整備計画基本構想(原案)について ・道の駅に関するアンケート調査(案)について ・再整備エリア内の視察
令和3年7月26日	第3回道の駅再整備推進協議会 (書面会議)	<ul style="list-style-type: none"> ・道の駅いまべつ 半島プラザ アスクル再整備計画基本構想(最終案)について ・道の駅に関するアンケート調査(最終案)について
令和3年10月29日	第4回道の駅再整備推進協議会	<ul style="list-style-type: none"> ・道の駅いまべつ利用者数等及び関連事業について ・道の駅いまべつ産直 品名・展示販売品及び売上日数について ・道の駅いまべつ 半島プラザ アスクル再整備計画基本計画(素案)について ・道の駅いまべつ再整備計画(現況及び導入施設配置案)について
令和3年12月9日	第5回道の駅再整備推進協議会	<ul style="list-style-type: none"> ・道の駅いまべつ 半島プラザ アスクル再整備計画基本計画(原案)について
令和4年2月3日	第6回道の駅再整備推進協議会	<ul style="list-style-type: none"> ・道の駅いまべつ 半島プラザ アスクル再整備計画基本計画(最終案)について ・道の駅いまべつ再整備計画(導入施設最終案)について

7-2 道の駅いまべつ再整備推進協議会委員

委員

	氏名	所属・職名等	備考
1	成田 精市	今別町議会 総務文教常任委員長	
2	田中 哲也	今別町議会 産業建設常任委員長	委員長
3	本郷 鉄男	今別町商工会 会長	
4	小鹿 孝悦	今別町観光協会 会長	副委員長
5	野土 一公	竜飛今別漁業協同組合 組合長	
6	金子 光雄	今別町スポーツ協会 会長	
7	田中 瀧雄	いまべつ牛販売促進連絡協議会 会長	
8	天野 浩	株式会社 サンアメニティ 青森支社 支社長	
9	五十嵐 慶貴	青森地域広域事務組合 中央消防署 今別分署長	
10	村上 留美子	社会福祉法人 今別こども園 園長	
11	成田 英梨奈	主任児童委員	
12	嶋中 佳子	荒馬ショップ 代表	
13	佐藤 孝子	道の駅いまべつ出荷者協議会会員	
14	相内 穰	二股地区 総代	
15	嶋中 卓爾	荒馬の里資料館 館長	
16	依田 啓夢	奥津軽いのしし牧場 代表	
17	太田 和泉	今別町総務企画課 課長	
18	山崎 真直	今別町町民福祉課 課長	
19	平山 寛哉	今別町産業建設課 課長	
20	佐渡 慶剛	今別町教育課 課長	

アドバイザー

青森県県土整備部 道路課 道路環境グループ
